



創立120周年

東京歯科大学広報



卒業式を終えて、満面の笑みを浮かべる卒業生：平成21年3月25日（水）、千葉校舎

■第114回卒業証書・学位記授与式

第114回卒業証書・学位記授与式は、平成21年3月25日（水）午前10時より千葉校舎講堂において挙行され、第114期卒業生127名が晴れの門出の時を迎えた。

式は、本学混声合唱部による校歌斉唱の後、佐藤 亨学生部長による開式の辞に続いて、列席者一同国歌を斉唱し、開式した。

薬師寺 仁副学長の学事報告に続いて、小田 豊教務部長の呼名により卒業生127名が一人ずつ登壇し、金子 譲学長より卒業証書・学位記を授与された。また、樋口はる香さんは学長賞として、賞状及

び金メダルの授与も受けた。続いて血脇賞の受賞者4名を代表し正村 綾さんに、精励賞の受賞者10名を代表し逢坂竜太君に、また卒業論文賞11名を代表して、岡田玲奈さんにそれぞれ賞状及び金メダルが授与された。また、昨年ご逝去された井上 裕前理事長のご遺徳を受け今年度の卒業式より、「井上 裕賞」が設置され、宇賀允悠君が受賞した。

その後、金子学長が卒業生に対し告辞を述べられ、続いて熱田俊之助理事長、大山萬夫同窓会会長が祝辞を述べられた。また、在学生代表の藤本 明君（5年）から送辞が贈られ、これに応じて卒業生

2009年 2・3月

235号

本号の主な内容

- ・第114回卒業証書・学位記授与式
- ・平成20年度HRCワークショップ開催
- ・第58回歯科衛生士専門学校卒業証書授与式
- ・平成21年度時間割表
- ・平成21年度学年暦

代表の樋口はる香さんが答辞を述べた。

最後に久保周平講師（口腔臨床健康科学講座）の指揮、高橋由香里さん（4年）の伴奏により全員で校歌を斉唱し、第114回卒業証書・学位記授与式は閉式した。

引き続き記念品贈呈式が行われ、大学、同窓会、

父兄会からそれぞれ卒業生へ、卒業生一同から大学へ記念品が贈呈された。その後、卒業生は体育館2階アリーナへ移動し、恩師と共に記念撮影に臨んだ後、第4教室にて代表者以外の授賞賞状・金メダルが井出吉信副学長より授与され、すべての行事が無事に終了した。

学事報告

東京歯科大学

副学長 薬師寺 仁

現在、本学に在籍する学生は、814名であります。

これらの学生の教育については、専任者として教授58名、准教授51名、講師79名、助教124名、助手1名の合計313名、このほかに臨床教授等、嘱託教員、客員教員および非常勤講師、合わせて484名が担当しております。

本日、第114回卒業証書授与式において卒業証書を授与される者は、前記在籍者のうち127名であります。これを大学設置以来の卒業生と合わせますと8,101名、専門学校設置以来の卒業生と合わせますと14,114名となります。

なお、高山歯科医学院創立以来の卒業生を通算しますと14,405名となります。

平成21年3月25日



金子学長より卒業証書を授与される卒業生：平成21年3月25日（水）、千葉校舎講堂



大山同窓会長より井上 裕賞を授与される卒業生：平成21年3月25日（水）、千葉校舎講堂



告辞を述べる金子学長：平成21年3月25日（水）、千葉校舎講堂



祝辞を述べる熱田理事長：平成21年3月25日（水）、千葉校舎講堂

告 辞

東京歯科大学
学 長 金子 譲

114期生の皆さん卒業おめでとうございます。

皆さんは、今この場に臨んで感慨ひとしおであろうと想像します。入学したら卒業する、という至極当たり前のことがこれほど大変なことであったのかと、改めてその思いを強くしていることでしょう。出席率、進級判定、基礎実習、臨床基礎実習、そして登院実習など、その判定基準を越すのは楽ではなかったと感じていることでしょう。実際に入学以来6年間でこの席にたどり着いた学生は78%であります。したがって、本日ここに卒業式を迎えた皆さんは修学年数に多少の重複があったとしてもそれらの高いハードルを立派に超えてきました。厳しい修学の中で皆さんは努力、達成感、友情、競争、協調、寛容、家族など今後の生活に大事なことを感じ、また身につけたはずです。皆さんは入学時に比べ人間として大きく成長いたしました。

皆さんは、人生の初期に世紀を挟んだ大変振幅の大きい社会に身を置いてきております。皆さんが誕生した頃の1985年には、ドル為替レートの切り上げによってドル安が誘導され、日本では急速な円高が進行したことからバブル景気につながっていきます。しかし、この狂乱は長くは続かず1990年にはピークを迎えたのち急激な景気後退に入ります。特に1997年には金融不安から株安、銀行の貸し渋りなどから不況に突入いたしました。この間、世界では1990年に東西ドイツが統一し、その翌年にはソ連の崩壊、1995年には欧州の通貨統一制度が決定され、今まで考えられなかった変革が起きました。

そして、昨年春、皆さんが最終学年になった時には、バブル後の失われた10年も過ぎ、円安から日本経済、わけてもわが世の春を謳歌していた日本の輸出生産業は、秋に顕在化したアメリカの金融政策失敗による世界恐慌によって奈落の底に落とされています。

幸いにして、日本はこの間戦火の中にいたわけではありませんので、皆さんはこの変化を実感しないで学生生活を屈託無く送ったはずで、この幸運は子供の特権とも言えるべきことですので、皆さんはご両親に深く感謝していることと思います。しかし、これからは皆さんは親の庇護のもとを離れてこうしたグローバルなダイナミズムに直接影響を受けるようになります。

さて、皆さんが学んだこの東京歯科大学は、来年に創立120周年を迎えます。本学の源流は明治23年東京の芝伊皿子に高山紀齋が創設した高山歯科医学院であります。現在我が国には29校の歯科大学・歯学部がありますが、120年を迎えるのは我が校が最初であります。

高山紀齋は明治5年、22歳で米国に留学し、7年間サンフランシスコで生活を送り、ここで米国歯科医術開業資格を取得して帰国いたしました。帰国後直ちに銀座で開業し、新しい米国歯科医学の治療によって高山紀齋の診療所は盛業となり、また名声を獲得いたします。先生は40歳のときに自宅の隣接地にあったスペイン公使館を買い取って開学いたします。しかし、その維持は財政的に困難をきわめ、10年後に高山先生の右腕であった血脇守之助に学校を委譲いたします。爾来血脇守之助の約半世紀に及ぶ苦闘が礎となり、また日本の学校制度の整備とともに、わが校は現在の質と規模とを誇るまでの歯科大学になりました。

大学法人は、本学の更なる発展のため今後の日本社会・経済を見据えて、昨年3月故井上 裕理事長のもと大学はこの稲毛の地から水道橋に移転することを決定いたしました。

高山歯科医学院が始まった明治23年1890年には、近代日本として最初の経済恐慌が綿糸紡績業の過剰生産によって起きています。その後も日本の資本主義経済は発展と挫折を繰り返し、さらには太平洋戦争で日本は壊滅的な状況になるのですが、昭和39年東京オリンピックを境に日本経済は驚異的な進展をいたしました。東京歯科大学の充実はこの日本経済の発展と軌を一にしており、時代に対応してきたことがその歴史から分かります。

さて、皆さんは21世紀の社会で歯科医師として社会に貢献していきます。私がこれまで話してきたことは、世の中は栄枯盛衰であり、同じ状況が永続するわけではないということでもあります。このことから、衰えているときには「希望と夢」を失うことなく、また栄えているときには「慢心を戒め」、時代の変化に対応していくことが大切であることを皆さんに伝えたいと思います。

20世紀は、同一規格の大量生産が主体になった社会でありました。21世紀は「知識基盤社会」といわれています。「知識」が、社会、経済の発展を駆動する基本的な要素となる社会ということです。知識には国境がありませんので、グローバル化がさらに進み、知識は日進月歩ですので、競争と技術革新が絶え間なく生まれるとされています。また、知識の進展は旧来のパラダイムの変換を伴うことが多く、幅広い知識と柔軟な思考力による判断が一層重要になるといわれています。20世紀の価値は、知識によって生産された「物」でしたが、21世紀は、知識そのものに大きな価値が与えられます。

このたびの世界恐慌は、アメリカが主導したペーパーマネー体制と近代工業社会の終焉を意味し、21世紀に向かって人々の意識を20世紀体制から離れさせる過渡期の大きな出来事になるとも言われています。

皆さんは、これからのこうした社会を知的な職業を楯として生きていくのです。皆さんが活動する時代の歯科医療は、社会の変化とともにこれまでのベクトルとは違って進んでいくはずですが、20世紀の人々の幸せ感は「物」を持っていることでした。しかし、21世紀は「満足する」ことが、幸せだと感じるようになると堺屋太一氏は予測しております。そして、この満足の大きさは、主観的、社会的、可変的でありますので多様性の強い性格であります。物財の豊かさは客観的で、科学的で普遍的なことでもありますので、両者を対比すると「満足」の性格は分かりやすくなります。

皆さんは、歯科医療のなかで診断・治療という科学的・客観的な知識・技術に基づきながら、患者さんが何を基準に皆さんの診療に「満足」してくれるのか、多様な状況の中から患者さんごとに見極めて対応しなければならないということです。また、皆さんがこれまでに習った歯科医学の知識は今後書き換えられる事柄も多いでしょうから、これをキャッチしていかなければなりません。なかなか骨の折れる職業です。

さて、ではどうするのかとなります。これは、皆さんが自身で考えていくことです。これこそがこれから皆さんに必要なことです。与えられたことを受身になって習うことは本日をもって終了です。今後は自分で問題を見つけ、問題解決の方向を自ら設計し、実行する能力を養ってください。この能力が皆さんの将来を決めると考えます。

皆さんは、これまでの厳しい学修の体験から自信もできたと思います。さらには、クラブ活動で活躍したり、あるいは趣味で喜びを見出したり生活のバランスも見事にやり遂げてきたはずですが、今後と同様です。

終わりに21世紀を生きる皆さんに処世訓を紹介いたします。「世の中は、五分の真味に、二分狭気、あとの三分は茶目で暮らせよ」。これは野口英世に血脇守之助が送った言葉です。歯科医学・医療の未来を拓くことを大学は皆さんに期待しております。

保護者の皆様、本日はご出席いただきましてありがとうございます。ご子弟の卒業を心からお祝い申し上げます。

祝 辞

学校法人東京歯科大学
理事長 熱田 俊之助

早春のこの佳き日に、第114回卒業証書授与式を迎えるにあたり、卒業生並びに保護者の皆様に法人を代表して、お慶び申し上げます。

まず、お子様方を手塩にかけ今日までお育てになられた保護者の皆様におかれましては、本日卒業式を迎えられ、感慨無量のものがあるかと存じます。誠におめでとうございます。心から、お祝い申し上げます。あわせて、今日まで、物心両面にわたり、本学の発展のために賜ったご協力、ご支援に、改めて感謝申し上げます。

また、一同窓として、金子学長をはじめとする大学関係者の皆様方の御尽力に深く敬意を表しますとともに、今日までの熱心な御指導に感謝を申し上げます。

さて、卒業生の皆さんは、本日この日に至るまで、沢山の努力をし、さまざまな困難を乗り越え、頑張り切ることを学び、自らの持続する意思と努力で階段を一つ登られたことを実感していると思います。

卒業は新たな出発ではありますが、到達点ではありません。人生行路においては、一つの通過点があります。皆さんは、本学で学び、経験したことを糧に自信と誇りを持って、これからの長い人生行路を歩んでいかれることと思いますが、人生の先輩として一言お願いがございます。

本学校歌に謳われている、「醫はこれ濟生 ひとえに仁なり」の一節は、東京歯科大学の建学者であり、本法人初代理事長であった血脇守之助先生の人に対する思いやりや慈しみを基盤とする血脇イズムを表しているといえます。本法人が発行した『血脇守之助傳』には、血脇先生と細菌学の権威として著名な野口英世博士との生涯の師弟関係が記されています。昭和3年、51歳という若さで亡くなられた野口博士の追悼会を行い、その席上、野口博士との思い出を述べた一文があります。

血脇先生が大正11年5月にニューヨークを訪問した際、野口博士は1ヵ月半にわたり、労を惜しまずお世話をされました。血脇先生はそのことに感謝し、「昔の世話はこれで取り引きなしに願います。」と申されました。野口博士は「恩の取り引きとは何事です。一生涯忘れることなき恩誼を僅か一度のお供が何でしょう。私はアメリカに在ること既に20年になりますが、清作の心はあくまで日本人です。第一私を呼ぶのに野口さんとは何ですか。清作とお呼び捨て下さるのが当然です。せめて野口君と呼ばれる事は我慢しますが、野口さんは返上致します。」と涙を流して立腹されたそうです。

卒業生の皆様は、お父様やお母様、ご親族の方々、これまでご指導くださった先生方、これから出会うであろう多くの方々にこれからも支えられていくことと思います。

「恩」を大切に、感謝する気持ちを持ち続けていただきたい。また、患者さんや、同僚、後輩に思いやりや慈しみを与える人になってほしいと思います。

六年間培ってきたものを胸に、世のため人のために尽くせる歯科医師となることを信じてやみません。

皆さんがコツコツと育んできた6年間の友情も、これからの人生において何物にもかえがたい宝物になることでしょう。大輪の花が咲くようこれからも大切に育ててください。

現在、歯科医療は大変厳しい時代を迎えております。様々な社会的要請や多くの問題が残されております。皆さんは、この不確定な時代だからこそ、努力と精進を怠らず確固とした信念にもとづいた判断をし、より創造的な自己を形成することに努めてください。皆さんが持っている才能は無限です。

本学の長い歴史の中で、本日卒業される127名の皆さんを含め、数多くの同窓が日本全国の医療機関、教育、研究の場で活躍されています。東京歯科全てが同窓生皆様の窓口となっておりますので、何かございましたらいつでも大学に連絡を取って頂きたいと思っております。本学の伝統は正に人本主義、ヒューマンイズムの精神であり、東歯家族主義であります。

平成22年には、創立120周年を迎えます。本学の輝かしい歴史の一頁に皆さんの名前が刻まれます。本学で培ったこの精神や経験がこれからの皆さんの財産であり、色々な活躍の場で威力を発揮すると思っております。血脇イズムの伝道者となって、これまでの努力の成果を活かし、各方面でご活躍されるよう祈っております。

最後に、114期卒業生全員の国家試験合格を祈念して饒の言葉と致します。卒業おめでとう。

祝 辞

東京歯科大学同窓会
会 長 大山 萬夫

第114回卒業証書授与式にあたり、卒業生の皆さん並びにご列席のご父兄の皆様へ東京歯科大学同窓会を代表致しましてお祝いを申し上げます。

入学以来、歯科医学の修得に努力され、本日ここに目出度くご卒業の日を迎えられました皆さんに、心よりお慶びの言葉を送りますと共に、今日まで深い愛情と理解をもってお支え頂いたご父兄各位のご苦勞に対し心から感謝と敬意を表す次第でございます。また卒業生の皆さんへきめ細かい教育指導に当たられた本大学の教職員の方々に深甚なる謝辞を呈するものであります。

本日より皆様を、我が国の歯科大学同窓会では最古110余年の歴史を誇る、東京歯科大学同窓会の新会員としてお迎えできますことは大きな喜びでございます。当同窓会は昨年より、新たなる同窓会として、変革と発展を旗印に同窓会員の為の同窓会として、また母校の設立120周年記念式典及び稲毛校舎の水道橋への移転事業等の支援をも視野に入れて活動しております。今同窓会は大きく変わろうとしております。

このような時、若さ溢れ無限の可能性を秘めた皆様に期待する大なるものが有ります。全国109支部会員数8千余名の先輩同窓会員は諸手を挙げて皆様を歓迎致しております。おめでとうございます。

さて、卒業生の皆さんは6年間の学び舎を巣立ち待望の歯科臨床研修医としての研修が始まります。しかし、昨年来の全地球的とも言える経済的不況は今日、日本にもご存知の様に深刻な影響をもたらしております。歯科医療もその限りではありません。このような時、研修医としてスタートする皆さんには、大きな期待と共に一抹の不安が交錯しておる事でしょう。

目下国民の皆さんは、深刻なる不況を理解され自衛的に、健康志向が高まって来ております。特に高齢化社会の中で、口腔保健に対する関心は特筆すべきものがあります。新進気鋭なる皆さんには全人的医療の提供が要求され、それへの対応が注目されてきております。

一日も早く技術を習得され信頼の歯科医療を確立する為にインフォームドコンセントに努めてください。今後東京歯科大学の建学の精神「歯科医師たる前に人間たれ」を座右の銘に、良心と尊厳を持って、患者さんの信頼に応え日々の診療に当られます様にお努めください。将来にピンチをチャンスに、必ずや道は広く明るく展開することでありましょう。

本同窓会と致しましても、皆様方を対象に卒後研修セミナーを実施致しております。生涯研修の第一歩と位置付け是非ご参加ください。また本会では全国ネットで支部を設置いたしておりますので何なりとご相談ください。支部長より明快なアドバイスが提供される事でしょう。大学の先輩後輩の絆は人生にとって得がたい宝と認識いたしております。

さて、有意義に研修をクリアされた暁には、歯科医を天職と位置付けそれぞれのお立場に於いて自己の健康管理のもと、専門職として医の倫理の高揚、自己生涯研修をお忘れなく、わが国の歯科医療向上のためご尽力いただければ望外の喜びでございます。

終わりにのぞみ、本日ご列席の皆様はじめ卒業生の皆様のご健勝とご繁栄を心より祈念いたします。これを持ちましてお祝辞とさせていただきます。本日は誠におめでとうございます。

送 辞

在学生代表

藤 本 明

春の日差しが天地に満ち溢れるこの良き日、六年の螢雪の功成って、本日ここに卒業証書授与式を迎えられた卒業生の皆様に対し、在学生一同、心よりお慶び申し上げます。

顧みれば、先輩方が歯科医学への志を胸に抱いて入学されてより、数々の難関を乗り越え勉学に励み、かつ人格を陶冶し、歯学の探究に精進されてきたその姿は、常に私達後輩の模範とするところでありました。

また勉学のみならず、部活動、日常生活に至るまで、温情溢れる御指導下さいましたことに対して、心から感謝を申し上げるとともに、私達在学生は先輩方の築かれた輝かしい栄光を受け継ぐ責任の重大さを感じ、微力ながらも後輩に伝え、更なる歴史を築けるよう、決意を新たにしております。

先輩方はこれより、晴れて夢にみた歯科医学の道を歩まれようとしています。しかしながら、近年歯科医療を取り巻く環境は大きな変革の時を迎え、また世間は昨年来激動の渦に巻き込まれています。先輩方の進まれる道は必ずしも平坦ではないのかもしれませんが、そのような時こそ、本学で学ばれた知識と技術、そして血脇守之助先生の「歯科医師である前に人間たれ」の精神を糧に、幾多の困難を乗り越えてご活躍されるお姿を陰ながら応援いたします。そして、今後の新たなる目標として同じ舞台に立てるよう、在校生一同精一杯努力していく所存でございます。今後とも、私達後輩の良き先達として、御指導を賜わらんことをお願い申し上げます。

最後に、先輩方よりいただいた数々の御薫陶と御厚情に心より感謝しつつ、今後の御健勝と御発展を心からお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

答 辞

第114期卒業生代表

樋口 はる香

陽の光は次第にやわらかく、色とりどりの花は咲きほころぶ季節となりました。

本日は、私たちの卒業証書授与式に、ご来賓ならびに諸先生方をはじめ多数の皆様のご臨席を賜り、卒業生一同、心より厚く御礼申し上げます。

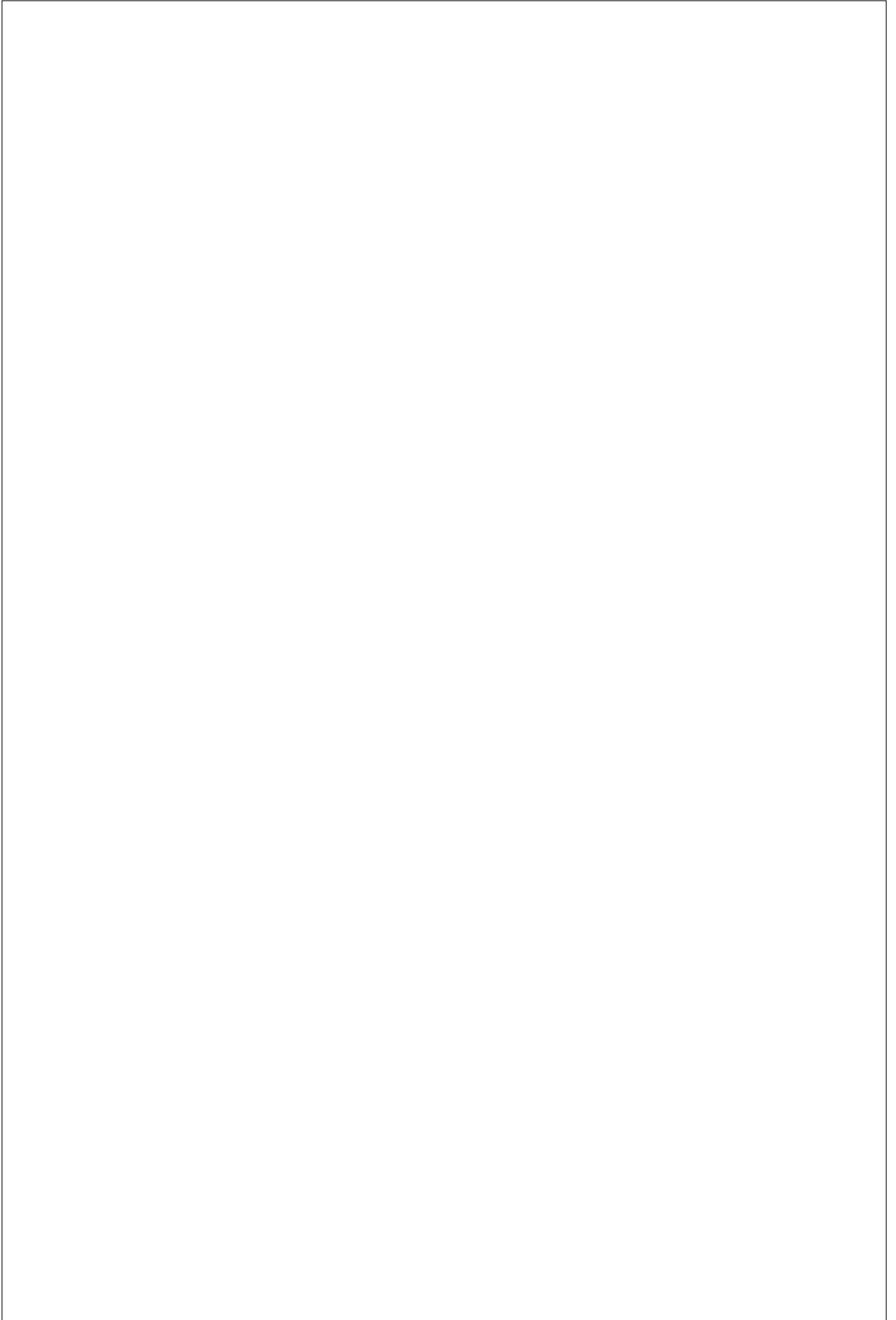
只今は、金子学長の告辞、そして熱田理事長はじめご来賓の皆様より示唆に富んだ励ましのお言葉を頂き、大変身の引き締まる思いでございます。また、在校生の皆様からは心温まる送辞を頂き、本当にありがとうございました。

思い返してみますと、平成15年に期待と希望を胸に本学に入学してより6年間、恵まれた修学環境のなか、諸先生方には熱心で親身なご指導をいただいたことに心より感謝しております。また、部活動や学生生活を通じて出会った先輩方や後輩の皆さん、何より6年間を共に過ごした、級友たちとの素晴らしい出会いは、私たちにとってかけがえの無い財産となりました。学業面での支えのみならず、充実した学生生活のための活動を理解し、様々な機会を与えてくださった学年主任・副主任の先生方、父兄会、同窓会ならびにご父兄の皆様にも深く感謝申し上げます。

私たちは今、東京歯科大学でのたくさんの思い出と共に、それぞれの道を歩みだそうとしています。私たちが踏み出していこうとする社会は今、世界経済の後退に伴った、暗い話題が多く聞かれる混乱の時代を向かえています。例に洩れず、厳しさを増す歯科医療界の現状、それに伴っての大学での進級や国家試験の厳しさも実感してきた私たちですが、そんな中でも歯科医師という職業の素晴らしさ

を教え、夢を与えてくれた先輩方がいました。私たちはそんな先輩方のように後輩に夢を語ることでできる歯科医師になっていくために、入学した時の希望と情熱を忘れず、明るい未来を自らの手で築くため今後も努力を惜しまない覚悟であります。また、社会人としての自覚を持ち、これまで学んでこられた幸せと感謝を忘れず、培ってきた力を活かし社会へ貢献する責務を果たしてまいります。

最後に、これまで私たちのためにご指導くださいました諸先生方、様々な場面で私たちを支えて下さった職員の皆様、温かく見守って下さったご父兄の方々に改めて深く御礼申し上げますとともに、在校生の皆さんのご活躍と東京歯科大学のより一層の発展を願って、答辞とさせていただきます。



学内ニュース

■第80回歯科医学教育セミナー開催

平成21年1月26日(月)午後6時より千葉校舎第3教室において、第80回歯科医学教育セミナーが開催された。今回は、「大学教育改革プログラム合同フォーラム参加報告」と題し、項目毎に、吉成正雄教授、石原和幸教授、片倉朗准教授、山内智博講師、亀山敦史講師の5名より説明が行われた。

まずはじめに、「質の高い大学教育推進プログラム」について、亀山講師より説明が行われた。教育GPの目的及び概要、採択された札幌市立大学等の事例報告、評価者が語る採択された申請書におけるポイント等の説明があった。

次に、「戦略的大学連携支援事業(大学間連携)」について、石原教授より説明が行われた。採択された大学連携を地元型、広域型、教育研究高度化型の大きく3つに分けて説明、戦略的大学連携とは、新しいものを生み出し、また、形成した拠点が、実績のあげられる取り組みであることが必要である旨説明があった。

次に、「がんプロフェッショナル養成プラン分科会」について、山内講師より説明が行われた。本学は、北里大学が主幹となり他7大学により構成される「南関東圏における先端がん専門家の育成－患者中心のチーム医療を牽引する人材育成の拠点づくり－」に平成20年度より参加しているところであるが、今後、履修認定、履修費用、修了後の進路等について慎重に検討することが重要である旨説明があった。

次に、「大学院教育改革支援プログラム」について、片倉准教授より説明が行われた。大学院教育に求められるもの、歯科医学分野で採択されたテーマ及びその事例紹介、今後期待されるテーマ等について説明があった。

最後に、「グローバルCOEプログラム」について吉成教授より説明が行われた。他の競争的資金の説明と併せ、グローバルCOEプログラムの概要、公募分野、申請・採択状況、採択された拠点の事例紹介、評価部会の総評等について説明、今後申

請していく内容については、慎重に検討を重ねた上で作成していくことが重要である旨説明があった。当日は大勢の参加者が集まり、皆熱心に各説明者の話に聞き入っていた。



説明する片倉准教授：平成21年1月26日（月）、千葉校舎第3教室

■片倉 朗准教授 「がんプロフェッショナル養成プラン」により日本口腔腫瘍学会で優秀ポスター賞を受賞

平成21年1月29日（木）、30日（金）に第27回口腔腫瘍学会総会（会長：草間幹夫 自治医科大学教授）が宇都宮市で行なわれた。「がんプロフェッショナル養成プラン」のコーディネーターを務める口腔外科学講座の片倉 朗准教授は、「がんプロフェッショナル養成プランによる本学における『口腔がん専門医養成コース』の概要」と題したポスター発表を行った。がん医療における歯科全般ならびに口腔外科の役割、本学大学院での具体的教育プログラム、同プログラムで期待される成果と近未来の展望を分かりやすいスキームで示し、口腔がんを扱う他施設に広くアピールした。歯学分野の大学院での新しい取り組みは、多くの施設から注目を集め、優秀ポスター賞を受賞



がんプロ所属の大学院生らとともに：平成21年1月30日（金）、宇都宮文化センター

となった。会場では他大学の若手の先生方からも修業についての質問が多数あり、関心の高さがうかがわれた。今回の受賞は本プロジェクト全体への評価であり、現在本コースに在籍する4名の大学院生にとっても大きな励みとなった。

■一般入学試験（Ⅰ期・Ⅱ期）、大学入試センター利用試験（Ⅰ期・Ⅱ期）実施

平成21年度一般入学試験（Ⅰ期）が、平成21年2月2日（月）午前9時から千葉校舎及び大阪会場（天満研修センター）において実施された。今年度も昨年に引き続き本学千葉校舎及び大阪会場から志願者が自由に会場を選択できることとした。また、今年度から大学入試センター利用試験を導入した。（一般入試と大学入試センター利用試験は併願可）、一般入試（Ⅰ期）322名、センター入試（Ⅰ期）142名、併願者115名、合計464名（実数349名）の志願者があった。

一般入試志願者には英語、数学、理科の3科目の学力試験、小論文、面接を実施した。センター入試志願者は、1月17日（土）、18日（日）に実施された大学入試センター試験において本学が指定した科目を予め受験し、本学の試験で小論文、面接試験を受験した。2月10日（火）にそれぞれ合格者が発表され、合格通知が発送された。

平成21年度一般入学試験（Ⅱ期）および大学入試センター利用試験（Ⅱ期）が、平成21年3月14日（土）午前9時から水道橋校舎において実施された。一般入試75名、センター入試16名、併願者14名、合計91名（実数77名）の志願者が集まった。合格者には3月17日（火）に合格通知が発送された。

■第81回歯科医学教育セミナー開催

平成21年2月16日（月）午後6時より千葉校舎第3教室において、第81回歯科医学教育セミナーが開催された。今回は、「求めに応じた歯科医学教育－日本歯科大学生命歯学部との取り組み－」と題し、日本歯科大学 生命歯学部 奈良陽一郎教授の講演をうかがった。

まずはじめに、国民の期待に応える歯科医師を養成するために必要なこととして、態度、技能、知識についての教育が十分に行われる必要がある旨説明があった。教育を施す背景として現在歯科界が置かれている状況、入学試験にお

ける受験者数・合格者数、国家試験合格者数の変遷等についても触れられた。

次に、日本歯科大学 生命歯学部における歯科医学教育デザインについて、1～6学年までのカリキュラムや、平成21年度から各学年において新設される科目のポイントについても説明があった。カリキュラム作成にあたっては、教育内容向上、人材能力開発促進を目的とし、教育開発委員会の下に各種部会が活動、より効果的な方策について計画・立案しているとのことであった。

さらには、日本歯科大学附属病院で行われている臨床実習についての概要、学習支援、評価方法等について説明いただいた。最後に、日本歯科大学 生命歯学部における今後の課題として、より一層理解しやすい講義、体得しやすい実習の検討、学生支援の推進、学生・保護者・大学による三位一体体制の構築、より適切な評価体制を構築していくことが重要である旨説明があった。当日は多数の参加者が集まり、質疑応答も活発に行われ大変有意義なセミナーとなった。



講演される奈良教授：平成21年2月16日（月）、千葉校舎第3教室

■平成20年度水道橋病院臨床研修歯科医症例報告会開催

平成20年2月16日（月）午後5時30分より、水道橋校舎血脇記念ホールにおいて、平成20年度水道橋病院臨床研修歯科医症例報告会が開催された。

本会は、1年間の臨床研修の総括として、臨床研修歯科医自らが治療を行った症例について学会形式で報告するものである。第6回目となる今回は、14名の臨床研修歯科医全員が口頭発表による症例報告を行った。

当日は、院内の教職員をはじめ、協力型臨床研修施設の指導医の先生方にもご出席いただき、ご

指導いただいた臨床研修歯科医の発表に対して貴重なコメントをいただくことができた。臨床研修歯科医は、それぞれ極めて真摯な態度で発表を行い、それに応えて活発な質疑応答がなされ、全ての参加者にとって非常に有意義な報告会となった。



発表風景：平成21年2月16日（月）、水道橋校舎血脇記念ホール

■第4学年共用試験CBT-OSCE実施

平成17年度から正式実施となった『臨床実習開始前の学生評価のための共用試験』（医療系大学間共用試験実施評価機構）が、第4学年生を対象に行われた。これは、社会からの要請に応え、信頼される医師・歯科医師を養成するために、全国の医歯学部を有する大学が参加し、診療参加型臨床実習を推進するにあたり学生が一定水準以上の知識、技能、態度を有しているか評価するものである。CBT（コンピュータによる客観試験：知識領域）が、平成21年2月18日（水）に千葉校舎第1,2教室で、OSCE（客観的臨床能力試験：態度・技能領域）が、3月1日（日）に千葉校舎臨床基礎実習室、臨床シミュレーション実習室、セミナー室、石膏作業室等において実施された。また、CBT追・再試験が3月11日（水）に行われた。

CBTは、約130名の学生が一斉にコンピュータ画面に向かって多肢選択式の試験に取り組んだ。今年も昨年同様、選択肢が6つ以上最大26まで設けられる多選択肢問題の2連問、4連問（L,R形式）や順次解答型五肢択一問題の2連問、4連問（W,Q形式）、五肢択一問題（A形式）の各形式で合計320問、6時間におよぶ試験が行われた。学生は、最後にコンピュータ上でアンケートに答え、試験を終了した。

OSCEは、医療系大学間共用試験実施評価機構で策定された共通課題、評価シート、評価マニユ

アルに従って実施され、医療面接系2課題、技能系5課題にレスト(休憩)を加えた9ステーション(ST)で実施された。他大学から21名の外部評価者、東京SP研究会から7名の標準模擬患者(SP)の協力を得て、総勢130名を超えるスタッフを動員して行われた。臨床実習を間近に控えた学生たちは、真剣な面持ちで試験に臨んでいた。

■大学院入学試験Ⅱ期実施

平成21年度大学院入学試験Ⅱ期が、平成21年2月21日(土)午前9時30分から千葉校舎において実施され、外国語(英語)試験および志望講座における主科目試験・面接が行われた。Ⅱ期は8名の志願者があり、7名が受験した。合格者の発表は2月27日(金)正午に行われた。なお、平成21年度大学院歯学研究科の合格者は、Ⅰ期合格者34名と合わせ41名となった。

■平成20年度第7回水道橋病院教職員研修会開催

平成21年2月26日(木)午後5時30分より水道橋校舎血協記念ホールにおいて、第7回水道橋病院教職員研修会が開催された。今回は、ヘルスケアシステム研究所・緑が丘クリニック院長の釜野安昭先生を講師にお迎えして、「歯科領域における心身医学的諸問題 ―心療内科現場での実際―」と題する講演が行われた。釜野先生は、東京医科大学口腔外科で歯科・口腔外科心身症専門外来を数年間担当され、日本歯科東洋医学会の学術大会においても教育講演をされており、我々の日常臨床に直結する内容の講演であった。

口腔は消化器系の一部であるばかりか、呼吸器系、感覚器系など多機能な構造体であるがために、症状と問題が実に多彩であるという話から始ま



講演される釜野先生：平成21年2月26日(木)、水道橋校舎血協記念ホール

り、水滞・水毒、瘀血、気滞など漢方医学的病態についても分かり易く解説していただいた。さらに口腔全体の慢性的な不快感や疼痛、舌痛、味覚異常、口臭など心身医学的症候に対する、心療内科的アプローチの方法論についても興味深いお話を伺った。この中では、“PEG (patient evaluation grid)”により患者の持つ症状、健康問題を分析し、身体・心理・社会・実存的なレベルで対策を行うことの有効性が、症例の供覧により紹介された。

当日は多くの教職員の参加があり、大変内容の濃い有意義な研修会となった。

■平成20年度HRCワークショップ開催

平成20年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップが、平成21年3月6日(金)、千葉校舎第5教室において開催され、教員、大学院生をはじめ、客員教授、名誉教授、出版報道関係者等多数が出席した。

ワークショップは、井上 孝口腔科学研究センター副所長の司会によって開会し、初めに口腔科学研究センター所長である金子 譲学長の基調講演“東京歯科大学口腔科学研究センターの研究拠点構想”が行われた。講演では、現在の大学における研究の状況について、これから水道橋に移転することを前提にした研究支援体制のあり方について、社会の要請、世界的潮流を視野に入れた、これからの研究の方向性とその必要性について展望した。さらに、その達成には、国際的視野を持つ若手研究者育成も急務であることを語られた。

次に行われたHRC第6プロジェクト「口腔内感覚の脳内認知機構の解明とその臨床医学的展開」は本年度を持って終了となるために、プロジェクトコーディネーターである一戸達也教授から総括報告が行われた。第6プロジェクトは、平成11年にスタートした第3プロジェクト「口腔・顎顔面の中枢制御に関する研究」から引き継いだ研究の総括報告が、研究代表者・プロジェクトコーディネーターの一戸教授(歯科麻酔学)によって行なわれた。第3プロジェクトで試行錯誤をくりかえした口腔機能に関連する脳磁図研究も、その経験や知識の蓄積が活かされてしだいに着実な結果を生むようになり、第6プロジェクトでは国際的に評価の高い学術誌に多くの論文が掲載され、口腔領域の脳機能に関するさまざまな新しい知見

を成果として残したことが報告された。また臨床的な応用として着手した先天性無痛無汗症患者の脳皮質応答に関する研究では、脳磁図による生理学的検査にとどまらず、遺伝子解析を用いた検索にも進展させていることが紹介され、新しい研究ステージへのロードマップが示された。

第二部として、HRC第7プロジェクト「口腔アンチエイジングによる生体制御」は中間報告を義務付けられており、研究代表者の井上 孝教授（臨床検査学）から、3年間の活動について報告がなされた。ついで、各研究班のリーダーより報告が行われた。

まず基礎研究班1の田崎雅和教授から、基礎研究班1は現在10課題が進行中である。その中から「テロメア結合タンパクの生理機能」と「口腔粘膜上皮の感覚神経終末の動態」についての中間報告がなされた。特に前者の課題はラット骨芽細胞の染色体の末端にあるテロメアの生理的活性についての説明がなされた。テロメアに存在するタンパク質（TRF; Telomere Repeating Factor）はテロメアの長さの維持に関連するタンパク質であるが、神経成長因子あるいは脳由来神経栄養因子はチロシンキナーゼ受容体を介してTRFを活性化する。またガラニン受容体を介してもTRFの機能が修飾され、その機能は促進されることの報告がなされた。このことによりテロメアの長さは維持され、結果として老化が予防される説明がなされた。

次に基礎研究班2の佐藤 裕准教授からは、本グループのごく最近のプログレスについて2つの報告がなされた。1つは口腔外科片倉 朗准教授による、唾液中の腫瘍マーカーとしてのエノラーゼについての報告がなされ、マイクロ流体デバイスにより多数検体のスクリーニングの可能性が提起された。またこの方法は唾液のエイジングマーカーが同定された後の多数検体スクリーニングに即応可能であることも示された。もう一つは生化学佐藤 裕准教授による報告で、30年ほど前に採取後凍結保存されていたミュータンスレンサ球菌と同一株が、同一被験者から現在も検出された例が報告された。

次に、活性班の橋本貞充准教授からは、今回のシンポジウムでは、エイジングに対する口腔固有機能と細胞の活性化グループとして、口腔粘膜上皮に関する2つの研究について報告された。口腔

上皮や唾液・唾液腺における生体防御機構を解明し、これらを活性化し治癒能力を高く維持していくことは、口腔のアンチエイジングの基礎となる重要なポイントである。口腔粘膜上皮について、口腔重層扁平上皮および歯肉付着上皮における透過性調節機構と接着機構に関与する因子の解明と活性化を検討すると共に、重層化した口腔粘膜培養細胞のモデルを作製し、上皮の重層化と細胞シートの透過性の変化との関連を検討している。一方、歯周組織の創傷治癒過程においても、歯肉切除後の再生付着上皮の歯面への再付着の過程では、上皮結合織間の外側基板におけるLaminin-1の発現に先立ち、伸展する再生上皮先端部では、Laminin 5のサブユニットの γ_2 鎖の強い発現と結合織側への分泌が起こること、再生上皮最表層の細胞膜に、接着蛋白のIntegrin α_3 , β_4 が発現して、歯面への接着・遊走を誘導することが明らかとなった。このような、口腔上皮の再構成とバリア構築の機構を解明することや、歯周組織の創傷治癒過程での上皮の動態を明らかにしていくことは、口腔アンチエイジングのみならず、口腔粘膜疾患の予防や歯周疾患の治療においても重要な示唆を与えるものとなると考えている。

次に、予防班の石原和幸教授からは、歯周病原菌の細胞侵入性についての解析についての成果の紹介があった。稲垣 寛助教らの共焦点顕微鏡による観察は、*Treponema denticola*は、口腔上皮細胞に対する侵入性が認められ、その侵入には、本菌の表層プロテアーゼdentilisinと、細胞側のアクチンフィラメントのpolymerizationが関わっていることを明らかにした。また、齋藤 淳講師らの解析は、*Porphyromonas gingivalis*が動脈内皮細胞への侵入性を持ち、その作用が*Fusobacterium nucleatum*との混合感染によって促進されることを示した。これらの結果から、歯周病原性菌の、歯周組織への侵入とそれに引き続く血管内皮細胞への侵入による動脈硬化病変形成への関与が示唆された。

次に、再生班の松坂賢一准教授からは、歯髄中のside population (SP) 細胞についての報告がなされた。SP細胞は幹細胞の性格を有していることが明らかとなっているが、再生医療の分野において様々な臓器からSP細胞を分離して組織再生に応用する試みがなされている。近年、埋伏歯抜去

に際して、時として廃棄される歯髓組織のSP細胞利用が注目されている。監物真RAは若齢者と高齢者の歯髓におけるSP細胞の割合とそれぞれの性格を遺伝子学的に検討し、ドナーサイドの年齢に関わらず再生医療に応用可能であることが示唆された。

最後に、副コーディネーターの吉成正雄教授がまとめとして、本プロジェクトの研究成果は徐々に現れ始めているが、今後重点的に取り組むべき課題として、「ヒトの口腔組織のエージングおよびアンチエージング機構をプロテオミクス解析、遺伝子解析、分子生物学的解析、生理機能解析を通して解明すること、また「口腔組織に存在する幹細胞を同定・分取し、再生医療に繋げる」ことが挙げられる、との報告があった。さらに、従来のHRC（ハイテクリサーチセンター）等を統合した私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に新たなプロジェクト研究を応募したこと、そしてこれらの研究は「分野融合型研究」によって始めて成し遂げられる、と結んだ。

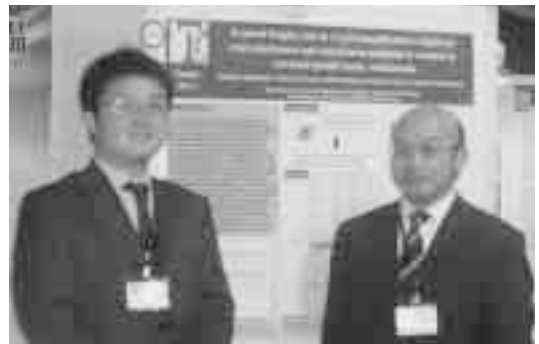


参加者からの質問に答える田崎教授（左）：平成21年3月6日（金）、千葉校舎教養棟第5教室

■2009 Annual Congress of ROC Association of Oral and Maxillofacial Surgeons, Taiwanで菅原圭亮レジデントがBest Poster Presentation Awardを受賞

平成21年3月7日（土）、8日（日）に台湾・台北で2009 Annual Congress of ROC Association of Oral and Maxillofacial Surgeons, Taiwanが行われた。口腔外科学講座からは1題目と柴原孝彦教授による特別講演が行われた。この中で菅原圭亮レジデントが「A novel fragile site in the 11q13 amplification region of oral squamous cell carcinoma patients is related to cervical lymph node metastasis」と題した発表

でBest Poster Presentation Awardを受賞した。Best Poster Presentation Awardは今学会で最も優秀なポスター発表に与えられる賞である。菅原レジデントらは口腔扁平上皮癌における頸部リンパ節転移予測分子マーカーの探索を行い、臨床応用することを目的として本研究を進めてきた。今回の学会では、個別遺伝子レベルの解像度でDNAコピー数の増幅や欠失を検出可能なアレイComparative genomic hybridization法で全ゲノム網羅的に頸部リンパ節転移予測分子マーカーを探索し、そこから抽出した分子マーカー候補領域に対してリアルタイム定量PCR法を用いてDNAコピー数変動解析を口腔扁平上皮癌患者70検体で行った。その結果11番染色体長腕13領域に存在する7つの遺伝子で頸部リンパ節転移有り群と無し群に有意差を認めた。さらに11番染色体のDNAコピー数増幅領域に新規のBreakpointを同定した。このDNAコピー数変動は日本人口腔扁平上皮癌患者における新規の頸部リンパ節転移予測分子マーカーとして利用できる可能性を示唆した。今後は検体数を増やし分子マーカーとしての精度を高め、臨床応用を図るとともに候補遺伝子の機能解析を行う予定である。



受賞した菅原レジデント（左）と柴原教授（右）：平成21年3月7日（土）、台湾・台北

■千葉校舎防災訓練実施

平成21年3月12日（木）午後1時30分から千葉校舎において防災訓練が実施された。

今回は、夜間防災訓練、火元責任者の通報訓練、自動体外式除細動器（AED）操作及び人工呼吸訓練の3つの訓練が実施された。

始めに行われた夜間防災訓練は、あらかじめ選出された宿直者（口腔外科歯科医師）及び病院勤務者等約20名が参加し、夜間に火災が発生したこと

を想定して、夜間通報訓練、初期消火訓練、患者避難誘導訓練をおこなった。初めて訓練に参加する人がほとんどであり、緊張感のある訓練となった。

続いて、行われた火元責任者の通報訓練では、各教室幹事等の学内における火元責任者約60名が参加し、「地震が発生しました。」という訓練放送後、各自、担当地域を点検、被害状況を仮設の防災センターへ報告する訓練をおこなった。当訓練は毎回の消防訓練時に実施しており、火元責任者の自覚と当該意識の向上を目的としたものであるが、各自の役割が改めて確認できた訓練となった。

最後に、第1会議室において、自動体外式除細動器(AED)操作及び人工呼吸訓練を行った。訓練希望者約40名が、指導員からAEDの操作・人工呼吸方法など詳細な説明を受け、マネキンを使用して実体験した。



AED操作及び人工呼吸訓練を受ける参加者：平成21年3月12日(木)、千葉校舎第1会議室

■第82回歯科医学教育セミナー開催

平成21年3月16日(月)午後6時より千葉校舎第2教室において、第82回歯科医学教育セミナーが開催された。今回は、「歯学教育を取り巻く環境変化とその対応：歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議第一次報告をふまえて」と題し、九州大学大学院歯学研究院 古谷野 潔教授の講演をうかがった。

まずはじめに、確かな臨床能力を備えた歯科医師を養成していくにあたり、押さえておく基本的な認識として、臨床実習時間数の減少及び各人の臨床能力格差の増大、大学全入時代の到来に伴う入学者の資質低下、歯科医療の信頼性の低下等について説明があった。歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議第一次報告とは、国民から信頼される歯科医師を養成するための適正な

歯学教育について議論されたことを取り纏めたものであるとのことであった。

次に、第一次報告において示された改善方策として、1. 歯科医師として必要な臨床能力の確保、2. 優れた歯科医師を養成する体系的な歯学教育の実施、3. 歯科医師の社会的需要を見据えた優れた入学者の確保、4. 未来の歯科医療を拓く研究者の養成の4点を示された。

そして、調査研究協力者会議が今後検討していかねばならないことは、各大学や関係機関の取組状況をフォローアップし、第三者評価の導入をはじめとする歯学教育の質の保証の方策等について議論を深めていくこと、文部科学省は各大学の改善計画を把握し、改善を推奨すること、文部科学省・厚生労働省は緊密に連携し、モデル・コア・カリキュラム、共用試験、国家試験、臨床研修等卒前・卒後教育を一体的に捉えた検討の場を設けることが必要である旨説明があった。当日は多数の参加者が集まり、質疑応答も活発に行われ大変有意義なセミナーとなった。



講演される古谷野教授：平成21年3月16日(月)、千葉校舎第2教室

■平成20年度東京歯科大学臨床研修ワークショップ開催

平成21年3月26日(木)午前9時より千葉校舎・実習講義室および各セミナー室にて平成20年度東京歯科大学臨床研修ワークショップが開催された。ワークショップは毎年3月に臨床研修歯科医を対象として実施され、今回は千葉病院研修歯科医88名および水道橋病院研修歯科医10名の出席者でワークショップを行った。

今回のワークショップのテーマを「平成20年度歯科医師臨床研修について」とし、今後の歯科医師臨床研修をより良いものとするため、出席した

研修歯科医総勢98名が13グループに分かれて、研修歯科医の立場から各病院のプログラムの問題点を抽出、問題点への対応と解決策を考察した。ワークショップの運営委員は角田正健臨床研修委員長、高橋俊之臨床研修副委員長、古澤成博臨床研修副委員長、総合診療科の山倉大紀講師、杉山利子講師、近藤祥弘講師、野呂明夫講師、保存修復学講座の亀山敦史講師が担当した。

ワークショップは角田臨床研修委員長の挨拶、高橋臨床研修副委員長の概要説明後、各グループがテーマについての問題の抽出、問題点への対応と解決策の作業を行った後に発表および質疑応答を行った。質疑では研修歯科医のプログラムに対する率直な意見交換が行われ、今後の歯科医師臨床研修の見直しに大変有意義となった。すべての作業が終了した後、角田臨床研修委員長より総評があり、午後5時40分にワークショップは終了した。



ワークショップの概要を説明する高橋臨床研修副委員長：平成21年3月26日（木）、千葉校舎実習講義室Ⅰ



歯科医師臨床研修の問題点への対応と解決策を考察する研修歯科医：平成21年3月26日（木）、千葉校舎セミナー室

■平成20年度第8回水道橋病院教職員研修会開催

平成21年3月26日（木）午後5時30分より水道橋校舎血脇記念ホールにおいて、第8回水道橋病院

教職員研修会が開催された。今回は保険講習会として、日頃より保険指導にあたって頂いている、本院非常勤講師の山口和彦先生にご講演をいただいた。

もし水道橋病院が開業医であったらという観点から、最近では歯科診療所数の増加率にたいして保険医療収入が伸び悩んでいる現状などを踏まえて、収入と支出のバランスシートを分析するなどのような改善案があるのかを考える内容であった。病院の現状で十分でないものとしては医学管理料への理解、歯周治療と補綴治療をより関連づけて診療をすすめる方策などがあげられ、これらについて具体例をあげての説明があった。また医療連携における開業医目線の必要性として、速やかな患者情報の伝達やトラブル症例への対応などについての理解が必要と指摘があった。

その後、本院非常勤講師の児玉重明先生から今年度の保険指導に関する総括の説明があり、歯科疾患管理料など算定の可能なもので算定の少ないものがみられる、1口腔単位としての治療計画ならびに口腔全体の把握や初診時の所見記載など基本的理解に乏しいところがみられるなど、厳格な指摘があった。これらは翌日からすぐにでも改善すべき内容で、即臨床につながる有意義な研修会であった。



講演される山口先生：平成21年3月26日（木）、水道橋校舎血脇記念ホール

■第102回歯科医師国家試験結果

第102回歯科医師国家試験は、平成21年2月7日（土）、8日（日）の両日に実施され、3月27日（金）に合格者が発表された。今回は、全国で3,531名が受験し2,383名が合格。今回の試験の合格率（全国平均）は67.5%となっており、昨年の合格率を若干下回る、昨年度と同様、厳しい試験結果となった。

その中で、本学からは平成21年3月卒業の第114期生127名、既卒者20名の計147名が受験、見事128名が合格した。合格率は87.1%（新卒者のみは88.2%）で、私立歯科大学・歯学部17校の中での合格率は1位であり、国公立大学を含めた総合順位でも第4位と健闘し、改めて歯大トップクラスの実力を証明したと言える。

■平成20年度臨床研修修了式開催

平成20年度の臨床研修修了式が千葉病院、市川総合病院、水道橋病院の三病院でそれぞれ行われた。

千葉病院では、平成21年3月27日（金）午前10時より千葉校舎実習講義棟3階歯科臨床研修医室において、平成20年度歯科医師臨床研修修了式が行われた。式は高橋俊之臨床研修副委員長の開式の辞に始まり、石井拓男千葉病院長から修了者を代表して、石井百子臨床研修歯科医に修了証が授与された。その後、石井千葉病院長による訓辞、角田正健臨床研修委員長の挨拶が行われ、修了式は無事に閉式した。

市川総合病院では平成21年3月26日（木）午前9時から市川総合病院第2・3会議室において、医科と歯科の臨床研修修了式が合同で行われた。式は司会の間部克善事務部長の開式の辞により始まり、安藤暢敏市川総合病院長から研修修了者（医科9名、歯科9名）に修了証が授与された。引き続き安藤市川総合病院長の訓辞が行われ、その後西田次郎研修管理委員長、山根源之副病院長（歯科研修管理委員長）、森下鉄夫副病院長、濱野孝子副病院長（看護部長）、辰野聡臨床研修プログラム委員会副委員長の挨拶があり、修了式を閉式した。

水道橋病院では、平成21年3月27日（金）午前9時より、水道橋校舎第1・2会議室で行われた。式

は司会の古澤成博教育主任の開式の辞に続いて、柿澤卓水道橋病院長より研修修了者14名に修了証が授与された。引き続き、柿澤水道橋病院長より訓辞が行われた。更に、2月16日（月）に開催された「平成20年度臨床研修歯科医症例報告会」の優秀賞3名を発表し、柿澤水道橋病院長より受賞者に記念の楯を授与し、修了式を閉式した。



修了証を授与する安藤市川総合病院長：平成21年3月26日（木）、市川総合病院第2・3会議室



歯科医師臨床研修修了者：平成21年3月27日（金）、水道橋校舎第1・2会議室



訓辞を述べる石井千葉病院長：平成21年3月27日（金）、千葉校舎実習講義棟歯科臨床研修医室

■特色GPフォーラム開催

平成21年3月28日(土)午後1時30分より水道橋校舎血脇記念ホールにおいて東京歯科大学特色GPフォーラムが開催された。「歯学教育でのICTを活用した学習評価」をテーマとして、独立行政法人メディア教育開発センター・社団法人私立大学情報教育協会・日本歯科医学教育学会の後援をいただき、公開フォーラムとして開催した。当日は学内外から92名の参加者があり、本学のGP事業への関心の高さが伺えた。

当日は金子 譲学長の開会挨拶、小田 豊教務部長の開催の趣旨に続き、事例発表およびディスカッションが行われた。

セッションⅠでは歯科麻酔学講座の一戸達也教授の司会の下、「ICT環境を利用した心肺蘇生法の技能評価」について本学歯科麻酔学講座の松浦信幸助教が、「自動的および客観的評価が可能な口内法エックス線撮影手技実習用シミュレータの開発」について本学歯科放射線学講座の佐野 司教授および西川慶一助教が、「統合型模型実習とその学習評価」について新潟大学の魚島勝美教授が、「スキルラボラトリーを活用した臨床技能評価」について東京医科歯科大学の荒木孝二教授が発表した。

セッションⅡでは歯科医学教育開発センター主任の河田英司教授の司会の下、「携帯電話による双方向型授業 ソクラテスシステムの概要と方法」について日本歯科大学新潟生命歯学部藤井一維教授が、「ICT環境下での態度技能再評価システムの構築」について本学解剖学講座の阿部伸一准教授が、「ICTを活用した学習の新評価システムー形成的評価と総括的評価ー」について本学歯科医学教育開発センターの村上 聡助教が発表した。

「IT環境を利用した心肺蘇生法の技能評価」については、心肺蘇生実習時にシミュレータから得られるデータを連続的にPCに取り込みグラフ化し、加えて実技時映像を同時に記録することが可能なシステムについて説明があった。「自動的および客観的評価が可能な口内法エックス線撮影

手技実習用シミュレータの開発」については、エックス線を使用せずに口内法エックス線画像を再現でき、撮影技術に対する自動評価機能をつけたシミュレータのシステムについて説明があった。「統合型模型実習とその学習評価」については、新潟大学における新しい統合型模型実習で技能教育における自学自習の可能性、基礎実習と臨床実習の効率的な連続性確保、技能教育と知識教育とのバランスについて説明された。「スキルラボラトリーを活用した臨床技能評価」については、平成18年1月に東京医科歯科大学に設置された歯学系スキルラボラトリーの使用状況や利用方法に加え、デントシムの自己診断機能を用いた臨床技能評価とフィードバックによる訓練がインレー窩洞形成の技術習得に非常に効果的であったことについて説明された。

「携帯電話による双方向型授業 ソクラテスシステムの概要と方法」については、平成19年10月に日本歯科大学で導入した携帯電話を利用した授業・学習支援「ソクラテスシステム」の概要と使用方法について説明された。「IT環境下でのOSCE再評価システムの構築」については、OSCEにおいて態度を評価する2人の評価者間における評価の不一致項目について、他の評価者が再評価を行うことのできるシステムについて説明があった。「ICTを活用した学習の新評価システムー形成的評価と総括的評価ー」についてはNintendo DS Lightを用いたオンライン小テストシステム“Den-Test”の形成的評価への活用や試験問題データベースと有線LANで接続したコンピュータによる総合学力試験により、客観的で、公平かつ迅速な評価ができるシステムについて説明があった。

2つのテーマに対し、発表後に行われた「フォーラムディスカッション」では、多くの質問、意見があり、今後の事業推進において貴重な検討の場となった。

またセッション1とセッション2の間には「窩洞形成評価システムの自学自習への取り組み」として本学保存修復学講座の高瀬保晶准教授が、「スケーリング・ルートプレーニングの臨床シミュレーションシステムの開発」として本学歯周病学講座の太田幹夫講師が、「PCを用いた混合歯列分析シミュレーションシステムの開発」として本学小児歯科学講座の米津卓郎講師がポスター発表を行い、こちらも活発な質疑応答が行われた。

最後に薬師寺 仁副学長の閉会挨拶で締めくくり、午後5時20分盛会の内に終了した。



発表される荒木教授：平成21年3月28日（土）、水道橋校舎血脇記念ホール



フォーラムディスカッション：平成21年3月28日（土）、水道橋校舎血脇記念ホール

海外交流

■台北医学大学医療管理学科大学院生等来校

台湾の台北医学大学から医療管理学科の大学院生等42名（医療管理学科の教員2名、大学院生40名）が、平成21年3月3日（火）に千葉校舎と市

川総合病院に来校した。

本学の姉妹校である台北医学大学口腔医学院と年々人事交流等が深まってきている中、今回の訪問の主な目的は、来訪者が本学の附属病院見学や

病院管理運営等のレクチャーを受けることにより、医療管理分野での専門知識を習得し人に奉仕する積極的な態度や人間性を高めることである。

一行は、3月3日(火)午前9時30分に来校し、千葉校舎第1会議室において、金子 譲学長、薬師寺仁副学長、井出吉信副学長、柳澤孝彰大学院研究科長、内山健志教授が出席し、井上 孝国際渉外部長の司会により歓迎式が開催された。

まず、金子学長から「昨年に引き続き、台北医学大学から多くの病院経営マネージメント専門職を目指す大学院生が本学の見学にお越しいただき大変感謝いたしております。今日は千葉校舎及び市川総合病院を充分に見学していただき、今後も両校の交流をより一層深めていきたいと考えております。」と歓迎の挨拶を述べた。台北医学大学からは、湯澡薫教授より、「東京歯科大学の歓迎に感謝申し上げますとともに、当病院を見学させていただき、今後の病院運営学を学ぶ大学院生の参考にさせていただきたいと思っております。」と述べられた。

記念撮影後、両校の概要説明があり、湯澡薫教授から台北医学大学の概要説明、井上国際渉外部



歓迎式記念撮影：平成21年3月3日(火)、千葉校舎第1会議室



千葉病院を見学する来校者：平成21年3月3日(火)、千葉病院

長(千葉病院副病院長)から千葉病院の概要説明、内山健志教授からは、東京歯科大学の海外での医療活動についてのプレゼンテーションがあった。その後、約1時間の所要時間で3グループに分かれて千葉病院の外来、病棟、コメディカル部門、医事課等を見学した。昼食後、午後1時ごろ、千葉校舎を出発し市川総合病院の見学に向かった。

市川総合病院では、濱野孝子市川総合病院副病院長(看護部長)からの挨拶に引き続き、台北医学大学側からの挨拶があった。その後、外木守雄准教授(オーラルメディスン・口腔外科学講座)により市川総合病院の概要説明が行われ、簡単な質疑応答の後、2グループに分かれて外来、病棟等を見学した。予定時間を大幅に過ぎてしまうほど熱心な質問が相次ぎ、午後3時半頃、市川総合病院を出発した。

■台南・奇美病院口腔外科と姉妹関係を締結

平成21年3月9日(月)、本学口腔外科学教室は台南にある奇美病院口腔外科(中華民国台湾、奇美医学中心)と相互に友好協力および交流の増強を図る目的で正式に姉妹関係を締結し、奇美病院において署名を行った(写真)。協定書では、両施設間の臨床学術研究ならびに人材育成に関する協力・交流を行い、口腔医学発展のため共同進歩を促進することを誓約した。

奇美病院は、台湾における最大の企業集団、奇美グループ(奇美実業)が母体となって1968年に66床の総合病院として台南に設立された。奇美実業は液晶ディスプレイ産業をはじめ、さまざまな光電子を中心に生物技術などの向上にも努めている。とくにAcrylonitrile Butadiene Styrene部門では世界トップクラスのシェアを誇っていると言われている。奇美病院は、その後、医療環境の需要とともに発展し、現在では1311床を有する台南を代表する医療・医学研究の拠点病院となっている。電子カルテを中心とした、医療のIT化も進んでおり台湾でも最先端かつ最大級の病院と言える。

さて、台湾の口腔疾患の事情をみると、口腔がんの発生率が高く、全がんのうち肺、肝臓、大腸に続いて第4位の死亡率を表している。人口10万人あたりの発症率は、日本5.6名、アメリカ11.3名に対して、台湾は何と215.5名にも達している。これは驚異的な発症率であり、台湾では歯科界の

みならず国を挙げてその対策に乗り出しているが、未だ増加傾向は留まっていない。とくに台南地方にその罹患率が高く、ビンロウ樹による噛みタバコの生活習慣が大きな原因であると報告されている。そして、この奇美病院口腔外科は台南地方の口腔がん治療の最前線として長年活動してきている。

一方、当教室では従来から口腔がんの制御に向けて多方面から研究を継続してきた。今回、教室の系統だった分子生物学的手法を駆使して台湾におけるビンロウ誘発口腔がんの発生メカニズムを解析することを、両施設共有の研究テーマとして計画した。このacademic studyが、台湾の口腔がん撲滅に向けて一石を投じられればと願う。

この姉妹締結にあたり、ご協力・ご支援をいただいた本学学長、副学長先生ならびに国際渉外部の方々には深甚なる感謝を申し上げます。



奇美病院口腔外科関係者の方々と共に：平成21年3月9日（月）、台南・奇美病院

■駐日ボリビア大使が市川総合病院を訪問

平成21年3月11日（水）午後、ボリビア共和国駐日特命全権大使 Masakatsu Jaime Ashimine（安次嶺正勝ハイメ）氏とボリビアのポトシ市長 René Joaquino Cabrera 氏が東京歯科大学市川総合病院と特定非営利活動法人日本-ボリビア医療友好協会（理事長 森下鉄夫市川総合病院副病院長）を訪問された。Joaquino市長は外務省南米課の招聘により来日された。

病院と医療友好協会の概要説明に引き続き、口腔がんセンター、歯科・口腔外科外来、角膜センター、リプロダクションセンター、透析センター、手術室、ICU、CCU、SCU、HCU、ECU、内科外来・病棟、放射線科診断・治療室などを2時間半にわたり見学され、スタッフによる説明を受けた。



見学するAshimine大使（中央左）とJoaquino市長（中央右）：平成21年3月11日（水）、市川総合病院CT・MRI室

学生会ニュース

■第114期卒業生謝恩会

第114期卒業生謝恩会は、平成21年3月25日（水）午後6時よりシェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテルの1階「THE CLUB Fuji」において盛大に開催された。

司会の森川泰紀君と宮井友理さんの開会の辞により幕を開けた本会は、西須大徳謝恩会実行委員長 長の挨拶、熱田俊之助理事長、金子 譲学長、大山萬夫同窓会会長の祝辞、西宮 寛父兄会会長の謝辞の後、西宮父兄会会長の発声により出席者一同が声高らかに乾杯し、歓談に入った。少しの間、歓談を楽しんだ後、金子学長よりデンツブライ賞

が池野宏宣君、西宮絃子さんに手渡された。



感謝の気持ちを込めての校歌合唱：平成21年3月25日（水）、シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル

続いて、6年間に114期生の修学指導を担当した学年・クラス主任並びに副主任の先生方に感謝の花束贈呈が代表学生より行われ、それに応えて、歴代の学年主任を務めた中村弘明先生、水口清先生、一戸達也先生、井上孝先生からそれぞれ卒業生に向けて温かいエールが贈られた。

会の後半には、柳沢哲秀114期同窓会長より第114期生クラス会の名称が「善歯会(いいしかい)」と発表された。このクラス会名は、114の数字からとったものと「善い志を持ち、素晴らしい歯科医師になるんだ」という願いをこめたものであった。

学生と教職員が一体となって、大いに盛り上がった楽しいひと時はあっという間に過ぎ去り、114期生が同窓会の一員となったことを記念し、学年主任・副主任と卒業生全員が壇上へ上がって校



閉会にあたって、来場者への謝辞を述べる井上君：平成21年3月25日(水)、シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル

歌を斉唱。最後はステージ上に集合した114期生全員の中から、代表で井上健児君が来場して下さった方々に「ありがとうございます」と挨拶し、午後8時に閉会となった。

■第114期卒業生から大学に卒業記念品贈呈

第114期生からの卒業記念品として、プラズマテレビが大学に寄贈された。平成21年3月25日(水)、第114回卒業証書・学位記授与式終了後に行われた記念品贈呈式において、卒業生代表の西須大徳君から金子譲学長に目録が手渡された。なお、今回贈呈されたプラズマテレビは厚生棟1階ホールに設置されている。



第114期生記念品：厚生棟1階ホールに設置されているプラズマテレビ

図書館から

■本学教員著書リスト

(本学の教員名が標題紙に記載されているものに限定・著者名順)

久保周平 [ほか] 編著 「4Dカラーアトラス歯列・咬合の発育」医歯薬出版, 2009

櫻井 薫 [ほか] 執筆 「歯学生のパーシャルデンチャー 第5版」医歯薬出版, 2009

(三谷春保 [ほか] 編)

内山健志 [ほか] 編 「カラーアトラスサクシント口腔外科学 第2版」学建書院, 2009

矢島安朝 [ほか] 編著 「インプラントのトラブルシューティング」永末書店, 2009

柳澤孝彰 [ほか] 編 「カラーアトラス口腔組織発生学」わかば出版, 2009

○本学教員の著書については、特に収集に努めております。著書発刊のおりには、できましたらご寄贈のほどよろしく願いいたします。

■閲覧用テーブル席の設置

平成21年2月より図書館2階視聴覚室前および閲覧室専門書架側に閲覧用の丸テーブル3台および椅子8席が追加設置された。これらのテーブルは書架の本を手にとって内容を見る時やちょっとした休憩など短時間利用する際に便利であり、また学習用としても利用できる。

テーブル・椅子ともにカーペットのグリーンに調和した色と形で、閲覧室の空気を和らげている。



新しく設置されたテーブル席：図書館2階ゲート前

■市川総合病院においてPubMed講習会開催

平成21年2月4日（水）午後6時から、市川総合病院会議室において、文献検索データベース「PubMed」の講習会が、「図解PubMedの使い方」の著者である阿部信一氏（東京慈恵会医科大学学術情報センター）を講師に迎え開催された。

本講習会は、昨年12月に阿部氏を講師に迎えて千葉校舎で行われたPubMed講習会が好評だったことを受け、市川総合病院での開催要望が高かったため開催となった。

当日は、会場となった会議室の定員を超える22名の参加があった。講習会はPCを使っての実習形式で行われ、系統だてたPubMedの使い方の説明に参加者からは、大変参考になり機会があればまた受講したいとの声もあり、非常に好評であった。



実習形式で行われた講習会風景：平成21年2月4日（水）、市川総合病院会議室

〈大学史料室から〉

■歯科用キャビネットほかの寄贈をうける

平成21年1月、東京都渋谷区で開業されている酒井雄學先生（昭和29年卒）および、娘さんご夫妻の田邊陽先生・彩記子先生（平成6年卒）から、歯科用キャビネットと歯科器械類をご寄贈いただいた。

キャビネットは、酒井先生が昭和33年に渋谷で開業された際に入手した特注品で、大変に愛着のある愛用の品だが、今回、田邊ご夫妻の勧めで大学史料室にご寄贈いただくことになった。また、電気炉・金銀圧展器等の器械類は、酒井先生のお父様が使用されていた品で、古い貴重な史料である。史料室で大切に保管し、広く閲覧に供していきたい。



酒井先生ご寄贈の歯科用キャビネットと歯科器械類



診療室での酒井雄學先生（右）、田邊陽先生（左）近影

史料室収蔵写真は、図書館ホームページ上で紹介されています。ご覧下さい。

歯科衛生士専門学校ニュース

■平成21年度一般入学試験実施

平成21年2月3日(火)東京歯科大学歯科衛生士専門学校の一般入学試験が実施され、学科試験(英語・国語)および面接試験が行われると共に、4日(水)には入試選考委員会が開催され、可否の結果が本人宛に郵送された。

本年度の志願者数は、高等学校長推薦41名、社会人特別選抜4名、一般入試13名の計58名で、昨年と比較しても著しい減少を示しており、18歳人口の継続的な減少と大学進学率の増加が反映していると考えられた。理数系ではない学生たちがより受験しやすくするために、本年度から、学科試験から数学を除き、英語・国語の2科目のみの試験を行ったが、応募者の減少に歯止めをかけることはできなかった。レベルの高い歯科衛生士教育を行うのに必要な優秀な学生の継続的な確保のために、新たな試みとして、指定校推薦の導入などを検討している。今後も歯科衛生士専門学校にとっては、厳しい情勢が続くものと思われる。

■第18回歯科衛生士試験実施

平成21年3月1日(日)、第18回歯科衛生士試験が全国10か所の試験場で一斉に実施された。

本校の卒業予定者42名全員が、東京試験場の明治大学駿河台キャンパス・リパティータワーにて受験した。試験は4肢択一および4肢択二のマークシート方式で行われ、午前100問(3時間)、午後100問(3時間)の計200問が出題され、午後4時に終了した。結果は3月25日(水)午後2時に厚生労働省ならびに歯科医療研修振興財団にて発表され、本校の受験者42名は全員合格した。全国の受験者総数6,038名のうち、合格者は5,757名で、合格率は95.3%であった。受験者数は昨年と比べて減少しているが、本年度は歯科衛生士養成機関における2年制から3年制への移行の最終年であり、卒業生がでない学校があることなどが影響していると考えられた。

■第58回卒業証書授与式

東京歯科大学歯科衛生士専門学校の第58回卒業証書授与式は、平成21年3月13日(金)午後1時から、千葉校舎講堂において厳粛な雰囲気の中で挙行された。

嶋村一郎教務部長の開式の宣言により式は始まり、国歌斉唱、眞木吉信副校長による学事報告の後、下野正基校長から42名の58期卒業生ひとりひとりが緊張の面持ちで卒業証書を授与された。続く褒賞授与では、成績がもっとも優秀であった菅野香さんに学校長賞が、伊藤明子、鶴澤亜美、宇田川瞳、川野結香、佐藤あゆみ、鈴木愛美、田中瑠恵、土屋佳織さんに優等賞が授与された。さらに、3年間無遅刻・無欠席でよく勉学に励んだことを讃え、宇田川瞳、大木恵、後藤綾香、佐野李恵、菅野香、田中瑠恵、田中愛美、野口沙希、宮田香織、山田千智、山田久代さんに皆勤賞が、また、石井夏紀、川野結香、小林敦子、佐藤あゆみ、佐藤幸恵、篤津奈桜、鈴木愛美、清野菜摘、竹澤有美、土屋佳織、根本愛、野瀬朋美、山崎美貴、吉田恵美

さんに精勤賞が授与された。また、千葉県知事賞には菅野香さん、社団法人日本歯科衛生士会学生部員会長表彰には伊藤明子さんが選ばれた。

下野校長の告辞に続き、来賓としてご臨席頂いた熱田俊之助東京歯科大学理事長の御祝辞を戴くと共に、金子讓東京歯科大学学長、中井麗子東京歯科大学歯科衛生士専門学校同窓会会長からご祝辞を頂いた。在校生代表の西谷英理華さんから送辞を受けた後、卒業生の代表として菅野香さんが3年間の思いを込めて答辞を述べた。「衛生士学校校歌」と「蛍の光」を厳かに斉唱し、東京歯科大学歯科衛生士専門学校の第58回卒業証書授与式は終わり、卒業生たちは歯科界へと巣立っていった。

引き続き行われた記念品贈呈式では、中井同窓会長から袱紗が、在校生からはパスセットとお花が卒業生に贈られ、卒業生からは後輩たちのためにブックシェルフが学校へ贈呈された。最後に、3年間一緒に学んだ仲間と共に、恩師を囲んで卒業記念の集合写真を撮影し、すべての行事が終了した。



下野学校長より卒業証書を授与される卒業生：平成21年3月13日（金）、千葉校舎講堂



卒業証書を手喜びの卒業生たち：平成21年3月13日（金）、千葉校舎講堂



答辞を述べる卒業生代表の菅野 香さん：平成21年3月13日（金）、千葉校舎講堂



卒業記念の集合写真：平成21年3月13日（金）、千葉校舎講堂

学事報告

東京歯科大学歯科衛生士専門学校
副校長 眞木 吉信

現在、本校に在籍する学生の数は、134名で、これに対し教授の任にあたる教員の数は、124名であります。

本日、第58回卒業証書授与式において卒業証書を授与される者は、42名であります。これを本校創立以来の卒業生に合わせますと、総数2,108名となります。

平成21年3月13日

告 辞

東京歯科大学歯科衛生士専門学校
校 長 下野 正基

大きくふくらんだソメイヨシノのつぼみが、やわらかな春の陽光に照らされて、万物が蠢動する今日の良き日に、東京歯科大学理事長、東京歯科大学学長、東京歯科大学歯科衛生士専門学校同窓会長をはじめ、多数のご来賓をお迎えして、ここに第五十八回卒業証書授与式を挙行致しますことを、ご臨席の皆様とともに衷心よりお慶び申し上げます。

卒業生の皆さん、おめでとうございます。卒業証書を手にして、喜びと感動を新たにしていることでしょう。また、今日まで卒業生の皆さんを支えてこられた、ご両親はじめご家族の皆様、おめでとうございます。本校の教職員を代表して、心からお祝いを申し上げます。

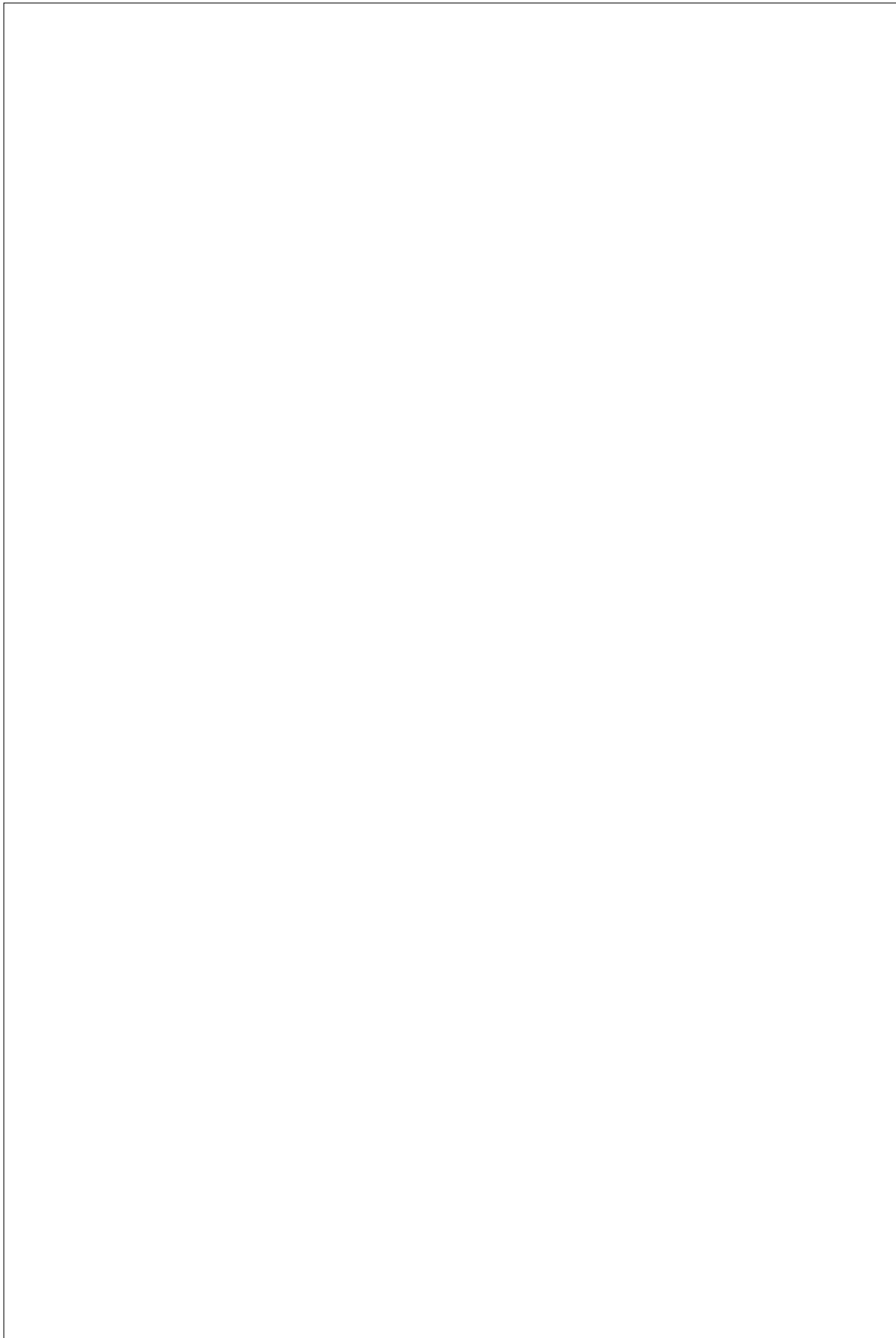
口腔保健の維持・増進の担い手である歯科衛生士となるために、大きな希望を抱いて本校に入学された皆さんは、東京歯科大学に併設されているという恵まれた環境のもとに、三年間にわたって、最新の歯科医学・医療に関する知識と技能の習得に努めてこられました。加えて、豊かな教養と知性を身につけ、素晴らしい友情を育ててこられました。本日ここに本校を巣立つことになりました。皆さんのこれまでの勉学の成果は、必ずや歯科衛生士試験全員合格という輝かしい結果として表れるだけでなく、これから口腔ケアのプロとして活動する時の貴重な糧となることでしょう。

現在、日本の歯科界は歯科衛生士不足という問題を抱えております。たとえば本校では、本日卒業された四十二名に対して約五百件の求人申し込みがありました。皆さんはその五百件の中から、自分に適した職場を選択したことと思います。歯科衛生士という職業を得た皆さんは、先見の明を有していたと言うことができましょう。

一方、昨今の日本社会には、アメリカでのサブプライムローンに端を発した未曾有の経済危機の影響によって、株価の暴落、円高による輸出業の不振、雇用不安などが広がっています。このような中であって、先日ひときわ明るいニュースがテレビや新聞で紹介されました。黒板に字を書くチョコレート製造の大手、日本理化学工業という会社は、知的障害者の雇用に取り組んでおり、今や全社員の七割が障害者であるといいます。そのきっかけは、五十年前養護学校を卒業予定の少女二人の就職依頼にきた養護学校の先生の必死の訴えでした。「この子達は就職できないと、一生働くことを知らずに終わってしまいます。一度でいいですから働く経験をさせてくれませんか。」この一言によって、会社の経営姿勢を変えたというこの会社会長の大山泰弘さんは、「人の幸せは、人に愛されること、人にほめられること、人の役に立つこと、人に必要とされることです。愛されることを除くと、あとの三つは社会で働くことによって得られるのです。」とある禅僧の教えを紹介しています。

高齢社会を迎えた今、健康の保持、増進についての国民の関心はきわめて高くなってきており、これに対応した歯科保健・医療の充実が求められています。本校の三年間の課程を終えた皆さんは、このような社会の要請に十分応えることのできる、医療人としての資質を十分に修得されているはずですが、それでも、日々進歩する歯科保健・医療の分野で活躍するためには、常に新たな知識の獲得と技能の向上に努めることが大切です。医療に携わる者の心構えとして生涯、自分自身の資質向上に努めて頂きたいと思っております。

皆さんはそれぞれ四月から、新しい職場で、社会人としての第一歩を踏み出すこととなりますが、「人に愛されること、人にほめられること、人の役に立つこと、人に必要とされること」を忘れず、一日一日を大切に、健康で心豊かな人生を歩んで行ってください。そして、歯科衛生士として医療・保健・福祉の場で大いに活躍されることを心よりお祈りして、告辞といたします。



創立120周年記念事業

■創立120周年記念ポスター・記念ボールペン作製

前号(234号)の表紙にも使用した創立120周年記念ポスターを作製いたしました。本ポスターは現在の三キャンパスそれぞれの頭上に広がった青空と光り輝く太陽が遙かな可能性と明るい未来を予感させ、手前から空に向かってのびるひとすじの光で、まっすぐ成長する学生と真摯に育成する本学を表現したものです。

また、マスコットキャラクターであるピバノスケを使用したボールペンを作製し、教職員及び学生に配布いたしました。

(本ポスターをご希望の際には、大学事務局企画・調査室までご連絡下さいますようお願いいたします。)



記念ボールペン

■告知サイン及び垂幕の設置

創立120周年記念事業の一環として、水道橋校舎に告知サイン(平成21年2月18日(水))を千葉校舎に垂幕(平成21年3月15日(日))の掲出を行いました。



水道橋校舎告知サイン
(水道橋駅東口正面玄関側)



水道橋校舎告知サイン
(白山通り沿い側)



千葉校舎垂幕

■「継承と発展」 「東京歯科大学創立120周年」
フォントについて

本学創立120周年記念事業のメインテーマである「継承と発展」、また「東京歯科大学創立120周年」のフォントについて、印刷媒体等でご使用になる際には、原則としてオープンタイプフォント「カクミン (M)」をご使用していただきますようお願いいたします。



平成21年度 第1学年時間割表

		Aクラス					Bクラス					
		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	
前期	9:00 ~ 10:25	1	基礎物理I β	歯科医学 概論・ コミュニケーションI	一般化学I	基礎物理I α	独 語	基礎物理I β	歯科医学 概論・ コミュニケーションI	一般化学I	基礎物理I α	英語III
			基礎化学I		一般物理I		基礎化学I		一般物理I			
	10:35 ~ 12:00	2	医療法学	健康学・ コミュニケーションI	独 語	基礎生物I	英語III	生命倫理	健康学・ コミュニケーションI	心理学	基礎生物I	英語I
					一般生物I		一般生物I				一般生物I	
	13:00 ~ 14:25	3	生命倫理	社会福祉	心理学	数学I	英語II	医療法学	数学I	英語II	独 語	独 語
14:35 ~ 16:00	4	経済学	体 育	自然科学 演習I	情報科学	英語I	経済学	社会福祉	自然科学 演習I	情報科学	体 育	
		社会学					社会学					
	ラテン語	ラテン語										
16:10 ~ 17:30	5	自然科学 演習I			教 養 セミナー		自然科学 演習I			教 養 セミナー		
後期	9:00 ~ 10:25	1	基礎物理II β	基礎物理II α	人 間 生物学	生物II	独 語	基礎物理II β	基礎物理II α	人 間 生物学	英語III	生物II
			基礎化学II	一般物理II			基礎化学II	一般物理II				
	10:35 ~ 12:00	2	歯科基礎 数 学	英語II	心理学	英語III	英語I	英語I	独 語	独 語	英語II	人類学
		13:00 ~ 14:25	3	数学I	独 語	理科実習	人 間 生物学	人類学	歯科基礎 数 学	数学I	心理学	人 間 生物学
	14:35 ~ 16:00		4	一般化学II	美 術		自然科学 演習II	体 育	一般化学II	美 術	体 育	自然科学 演習II
哲学					哲学							
		日本史	日本史									
16:10 ~ 17:30	5		教 養 セミナー					教 養 セミナー				

平成21年度 第2・3・4・5学年時間割表

		第2学年					第3学年					第4学年					第5学年					
		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	
前期	9:00 ~ 10:25	1	生理学 物質の科学	口腔解剖 A 医療統計	B 科学英語 A 解剖実習	B 生命現象と物質実習	口 微	A 微生物実習	B 生理実習	発生病態学 補綴学	歯 内	口 病Ⅰ	歯科矯正実習	歯 周	クラウン ブリッジ補綴学	小児歯科実習	有床義歯 補綴学	臨床実習 課題講義・臨床複合講義 課題講義				
	10:35 ~ 12:00	2	生物 細胞分子	B 口腔解剖 A 科学英語	B 口腔解剖実習	保存修復	B 生理実習	補綴学	病理実習	歯 内			矯正実習	口 外	社 歯	小児歯科実習	局部義歯実習					
	13:00 ~ 14:25	3	生物 細胞分子	生物の構造 と機能	口腔解剖実習	解剖	衛 生	病 理	理 工	薬理実習	生 化	生 化	矯正 歯 麻	歯 放	口 外	小 歯	局 部 義 歯 実 習					
	14:35 ~ 16:00	4	A 解剖統計 B 医療統計	組 織	解剖	解剖	薬 理	A 生理実習	B 微生物実習	歯科理工実習	生 化	生 化	歯 内	矯正 歯 麻	口 外	隣接医学 歯科医療管理	オーラルメー ディン					
	16:10 ~ 17:30	5		コミュニケーションⅡ		コミュニケーションⅡ	英語講読	歯科医学		歯科理工実習	法 歯		歯 内	矯正 歯 麻	口 外	隣接医学 歯科医療管理	オーラルメー ディン					
後期	9:00 ~ 10:25	1	口腔生理	歯科臨床概論・ コミュニケーションⅡ	A 解剖実習	B 組織実習	病 理	微生物	保存修復	小 歯	補綴学 有床義歯	総論 歯科補綴学	歯 内	矯正 歯 内	クラウン ブリッジ補綴学	口 外	課 題 講 義	臨床実習 課題講義 臨床複 合講義				
	10:35 ~ 12:00	2	生 理	コミュニケーションⅡ	口腔解剖実習	口腔組織・ 口腔組織実習	歯 薬	歯 薬	保存修復実習	口 病Ⅱ	補綴学 有床義歯	矯正 歯 内	歯 内	矯正 歯 内	クラウン ブリッジ補綴学	口 外	課 題 講 義					
	13:00 ~ 14:25	3	生 化	生 化	解 剖	理 工	保 存 修 復 実 習	保 存 修 復 実 習	口 病Ⅱ	口 病Ⅱ	補綴学 有床義歯	矯正 歯 内	歯 内	矯正 歯 内	クラウン ブリッジ補綴学	口 外	課 題 講 義					
	14:35 ~ 16:00	4	薬 理	口腔生理	A 組織実習	B 解剖実習	理 工	理 工	保存修復実習	口 病Ⅱ	補綴学 有床義歯	矯正 歯 内	歯 内	矯正 歯 内	クラウン ブリッジ補綴学	口 外	課 題 講 義					
	16:10 ~ 17:30	5		微生物	微生物		保存修復実習	保存修復実習	口 病Ⅱ	口 病Ⅱ	補綴学 有床義歯	矯正 歯 内	歯 内	矯正 歯 内	クラウン ブリッジ補綴学	口 外	課 題 講 義					

平成21年度学生数一覧

平成21年4月14日現在

学 年	男	女	計	班 分 け	欠 番	
1年	A	42	24	66	1A: No.1~66 1B: No.71~136	
	B	42	24	66		
		84	48	132		
2年	86	55	141	A班: No.1~69 B班: No.70~141		
3年	82	52	134	A班: No.1~67 B班: No.68~134		
4年	85	52	137	A班: No.1~69 B班: No.70~137		
5年	82	53	135	A班: No.1~34 B班: No.41~74 C班: No.81~114 D班: No.121~153	35~40 75~80 115~120	
6年	92	47	139	A班: No.1~35 B班: No.42~77 C班: No.81~119 D班: No.121~156	25、36、37、38、39、40 41、69、78、79、80、90 101、104、109、120、129	
合 計	511	307	818			

人物往来

■国内見学者来校

千葉校舎・千葉病院

- 八千代リハビリテーション学院（学生138名、職員7名）
平成21年2月3日（火）から6日（金）まで解剖実習見学
- 太陽歯科衛生士専門学校（学生80名、教員3名）
平成21年2月4日（水）口腔衛生学実習
- 藤リハビリテーション学院（学生60名、教員2名）
平成21年2月16日（月）から17日（火）まで解剖実習見学
平成21年2月23日（月）から27日（金）まで解剖実習
- 日本医科学衛生福祉専門学校、日本医科学看護専門学校（学生77名、教員4名）
平成21年2月19日（木）解剖標本室、解剖実習見学
- 国際医療福祉専門学校（学生43名、教員4名）
平成21年3月3日（火）から5日（木）まで解剖実習見学
- 東京医療専門学校（学生35名、教員1名）
平成21年3月10日（火）から13日（金）まで解剖実習見学
- 千葉医療福祉専門学校（学生61名、教員8名）
平成21年3月24日（火）から27日（金）まで解剖実習見学

■海外出張

- 篠崎尚史センター長（角膜センター）
移植によるトレイサビリティシステムのための未来計画についての会議のため、平成21年2月6日（金）から10日（火）まで、アメリカ・ニューヨークへ出張。
- 澁川義幸講師（生理）
ゴードンリサーチコンファレンスSalivary Glands & Exocrine Secretionで発表のため、平成21年2月8日（日）から14日（土）まで、アメリカ・テキサスへ出張。
- 金子 譲学長、縣 秀栄講師（市病・麻酔科）
モスクワ国立医科歯科大学主催「International Conference DENTAL-REVUE」にて講演のため、平成21年2月9日（月）から15日（日）まで、ロシ

ア・モスクワへ出張。

- 井出吉信副学長、佐藤 亨教授（クラウンブリッジ補綴）
台湾・奇美病院の訪問及び、講演のため、平成21年2月11日（水）から13日（金）まで、台湾・台南へ出張。
- 白石 建教授（市病・整形外科）
脊椎外科集会で講演及び、手術実演のため、平成21年2月14日（土）から22日（日）まで、ベトナム・サイゴン、ホーチミン、ハノイへ出張。
- 矢島安朝教授（口腔インプラント）、阿部伸一准教授（解剖）
台北医学大学同窓会学術講演会で講演のため、平成21年2月28日（土）から、矢島教授は3月2日（月）まで、阿部准教授は3月3日（火）まで、台湾・台北へ出張。
- 篠崎尚史センター長（角膜センター）
国立熱傷センターオープニングセレモニーへ出席のため、及び、ハノイ医科大学で講義、ORBIS Project本部・厚生省訪問のため、平成21年3月1日（日）から10日（火）まで、ベトナム・ハノイへ出張。
- 石田 瞭講師（摂食・嚥下リハビリテーション・地域歯科診療支援科）
第17回Dysphagia Research Society Meetingに参加のため、平成21年3月3日（火）から8日（日）まで、アメリカ・ニューオーリンズへ出張。
- 高山 伸 助教（市病・外科）
26th Annual Breast Cancer Conferenceで発表のため、平成21年3月3日（火）から8日（日）まで、アメリカ・マイアミへ出張。
- 柴原孝彦教授、菅原圭亮レジデント（口腔外科）
2009年台湾口腔顎顔面外科学会へ参加のため、平成21年3月6日（金）から10日（火）まで、台湾・台北へ出張。
- 大内貴志講師、岩室賢治専修医（市病・麻酔科）
International Anesthesia Research Society 2009 Annual Meetingで発表のため、平成21年3月13日（金）から17日（火）まで、アメリカ・カリフォルニアへ出張。

○松浦信幸助教(歯科麻酔)

2009 International Anesthesia Research Society ,
International Science Symposiumで発表のため、
平成21年3月13日(金)から19日(木)まで、ア
メリカ・カリフォルニアへ出張。

○松久保隆教授(衛生)

延世大学との共同研究打合せのため、平成21年
3月20日(金)から22日(日)まで、韓国・ソウ

ルへ出張。

○中島庸也教授(市病・耳鼻咽喉科)、外木守雄准
教授(市病・オーラルメディスン)、佐藤一道助
教(市病・口腔がんセンター)

The 6th Sleep Respiration Forum in Daebu及び、
9th World Congress on Sleep Apnea Seoulへ参加
のため、平成21年3月24日(火)から28日(土)
まで、韓国へ出張。

大学日誌

平成21年2月

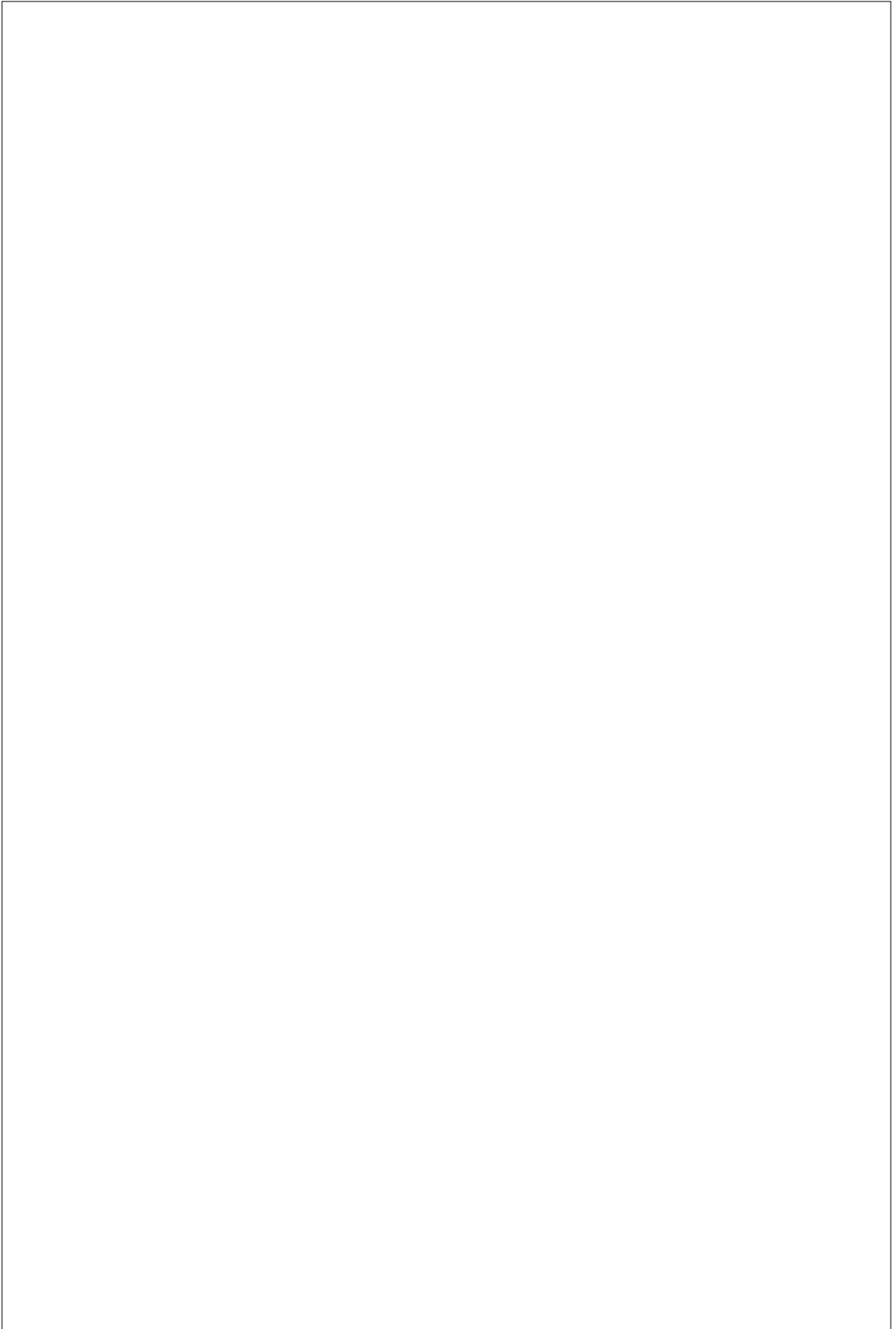
- | | | | |
|-------|---|-------|---|
| 2(月) | 一般入学試験(I期)・大学入試センター
利用試験(I期)
省エネルギーの日・防災安全自主点検日 | 10(火) | 大学入試センター利用試験(I期)合
格発表
院内褥瘡対策委員会(市病) |
| 3(火) | 学内競争的研究費の配分基準に係る検
討委員会
歯科衛生士専門学校一般入学試験
看護部運営会議(市病) | 13(金) | 大学院事務連絡会
大学院入学試験(II期)願書受付締切
歯科衛生士専門学校1・2年生後期試験
(~20日) |
| 4(水) | リスクマネージメント部会
ICT会議
歯科衛生士専門学校一般入学試験選考
委員会
口腔健康臨床科学講座会(水病) | 16(月) | 4年生総合学力試験
医療連携委員会
第81回歯科医学教育セミナー
環境清掃日・危険物・危険薬品廃棄処
理日
監査法人会計監査(市病)
平成20年度臨床研修歯科医症例報告会
(水病) |
| 5(木) | 講座主任教授会(臨時)
一般入学試験(I期)合格発表 | 17(火) | 2年生総合学力試験
講座主任教授会
人事委員会
教養科目協議会
歯科衛生士専門学校教員会
看護部運営会議(市病)
栄養委員会(市病) |
| 6(金) | 1・2・3年生後期定期試験(~16日)
4年生後期定期試験(~13日、7日(土)
を含む)
千葉校舎課長会
予算委員会
ICT委員会(市病)
感染予防指導チーム委員会(水病) | 18(水) | 4年生共用試験(CBT)
基礎教授連絡会
大学院運営委員会
大学院研究科委員会
CPC(市病)
リスクマネージメント部会(水病)
医療機器安全管理委員会(水病)
薬事委員会(水病) |
| 7(土) | 第102回歯科医師国家試験(~8日) | 19(木) | 3年生総合学力試験
千葉校舎課長会 |
| 9(月) | 病院運営会議
個人情報保護委員会
医療安全管理委員会
感染予防対策委員会(ICC)
臨床教育委員会
医局長会 | | |
| 10(火) | 臨床教授連絡会
講座主任教授会(臨時) | | |

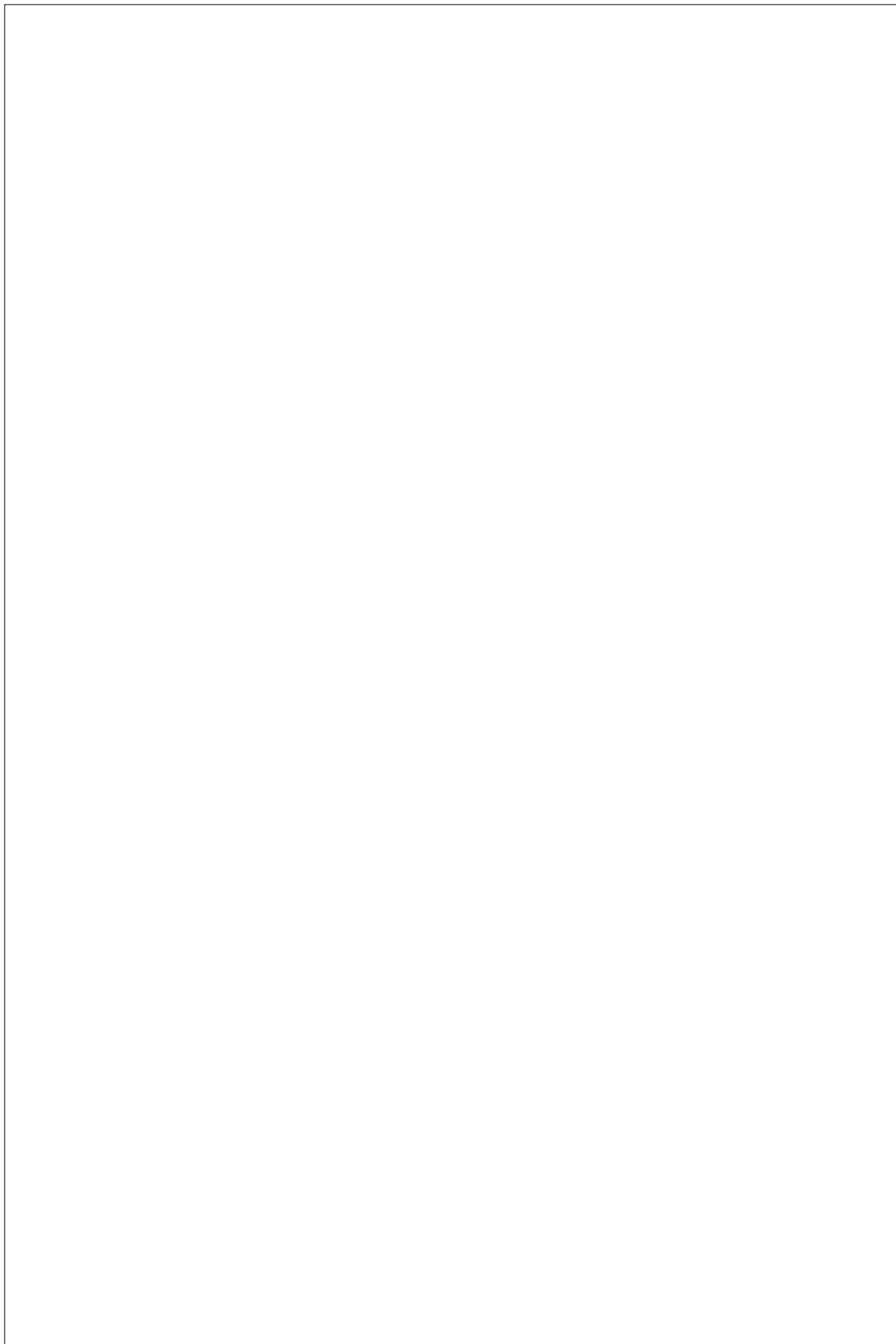
19 (木)	業務連絡会 高度・先進医療委員会 部長会 (市病) 管理診療委員会 (市病) 医療安全管理委員会 (水病) 感染予防対策委員会 (水病) 個人情報保護委員会 (水病) 科長会 (水病)	5 (木)	治験審査委員会・院内倫理委員会 (市病) 研修管理委員会 (水病)
20 (金)	機器等安全自主点検日 理事会 (法人)	6 (金)	大学院事務連絡会 平成20年度HRCワークショップ ICT委員会 (市病)
21 (土)	大学院入学試験 (Ⅱ期)	7 (土)	研修管理委員会
23 (月)	公認会計士監査 (～27日) 一般入学試験 (Ⅱ期) ・大学入試センター利用試験 (Ⅱ期) 願書受付開始 (～3/11) 電子カルテシステム運用管理委員会 (診療録管理委員会) (市病)	9 (月)	3・4年生総合学力追・再試験 病院運営会議 個人情報保護委員会 医療安全管理委員会 感染予防対策委員会 (ICC) 臨床教育委員会 医局長会 医療安全研修会
24 (火)	データ管理者会議 カルテ整備委員会 診療記録管理委員会	10 (火)	2年生総合学力追・再試験 歯科衛生士専門学校臨床実習委員会
25 (水)	情報システム管理委員会 病院連絡協議会 (水病) 診療録管理委員会 (水病) サービス向上委員会 (水病)	11 (水)	一般入学試験 (Ⅱ期) ・大学入試センター利用試験 (Ⅱ期) 願書受付締切 4年生共用試験 (CBT) 追・再試験 基礎教授連絡会 大学院運営委員会 大学院研究科委員会 臨床検査運営委員会 (市病) リスクマネージメント部会 (水病) 医薬品安全管理委員会 (水病) 薬事委員会 (水病)
26 (木)	学生部 (課) 事務連絡会 院内感染症予防対策委員会 (市病)	12 (木)	防災訓練 業務連絡会 医療安全管理委員会 (市病) 院内褥瘡対策委員会 (市病) 手術室運営管理委員会 (市病)
27 (金)	大学院入学試験 (Ⅱ期) 合格発表 社保委員会 (水病)	13 (金)	第58回歯科衛生士専門学校卒業証書授与式 感染予防指導チーム委員会 (水病)
28 (土)	4年生共用試験OSCEテストラン	14 (土)	一般入学試験 (Ⅱ期) ・大学入試センター利用試験 (Ⅱ期) (於：水道橋校舎)
平成21年3月		16 (月)	給食委員会 医療連携委員会 第82回歯科医学教育セミナー 環境清掃日 危険物・危険薬品廃棄処理日
1 (日)	4年生共用試験 (OSCE)	17 (火)	一般入学試験 (Ⅱ期) ・大学入試センター利用試験 (Ⅱ期) 合格発表 臨床教授連絡会
2 (月)	教務部 (課) 事務連絡会 省エネルギーの日・防災安全自主点検日 薬事委員会 (市病)		
3 (火)	1・2・3・4年生後期追・再試験 (～6日) 看護部運営会議 (市病)		
4 (水)	リスクマネージメント部会 ICT会議 輸血療法委員会 臨床検査部運営委員会 千葉校舎課長会 口腔健康臨床科学講座会 (水病)		

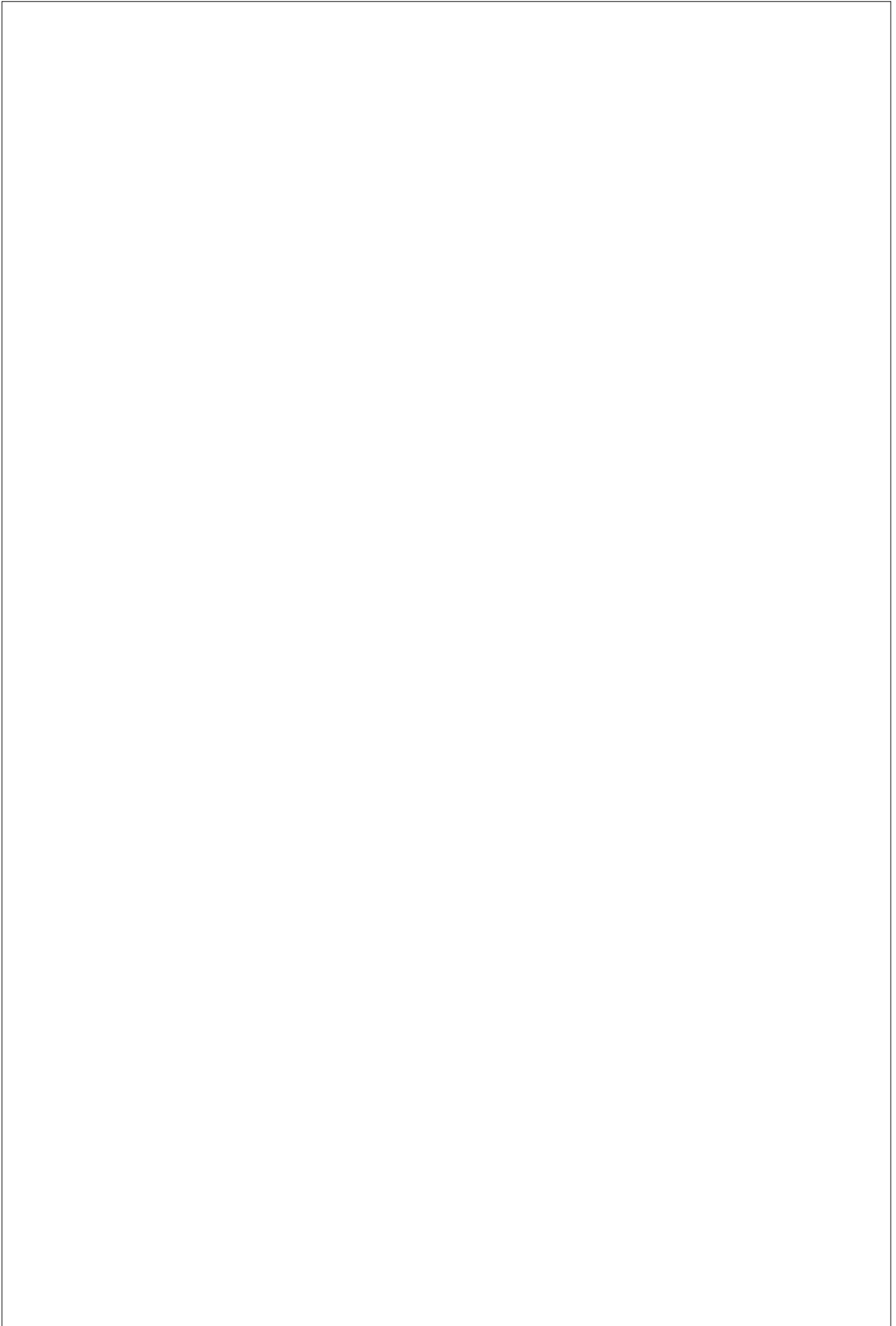
- | | |
|--|--|
| 17 (火) 講座主任教授会
人事委員会
教養科目協議会
歯科衛生士専門学校教員会
看護部運営会議 (市病) | 24 (火) 第114回卒業証書授与式予行演習
病院連絡協議会 (水病)
診療録管理委員会 (水病)
サービス向上委員会 (水病) |
| 18 (水) 図書委員会
CPC (市病) | 25 (水) 第114回卒業証書授与式
26 (木) 大学院研究科委員会 (臨時)
千葉校舎課長会
院内感染症予防対策委員会 (市病)
教職員研修会 (法人) |
| 19 (木) 学生部(課)事務連絡会
高度・先進医療委員会
部長会 (市病)
管理診療委員会 (市病)
理事会 (法人)
医療安全管理委員会 (水病)
感染予防対策委員会 (水病)
個人情報保護委員会 (水病)
科長会 (水病) | 27 (金) 歯科臨床研修修了式
歯科臨床研修修了式 (水病)
社保委員会 (水病) |
| 23 (月) 健康管理委員会
講座主任教授会 (臨時)
人事委員会
機器等安全自主点検日
電子カルテシステム運用管理委員会 (市病) | 28 (土) 特色GPフォーラム (於：水道橋校舎)
31 (火) 薬事委員会
データ管理者会議
カルテ整備委員会
診療記録管理委員会
給与査定委員会 (法人)
評議員会 (法人) |

平成21年度 学年暦

年月日	曜	行 事 予 定
平成21年 4月 1日	水	5年生オリエンテーション・登院器材刻印・検査
6日	月	5年生登院式
7日	火	入学式
8日	水	新入生オリエンテーション・学内見学
15日	水	2・3・4年生オリエンテーション
17日	金	1・2・3・4年生前期授業開始
30日	木	} 新入生学外セミナー
5月 1日	金	
29日	金	1～4年休講日 (4/29～5/6連休)
6月11日	木	6年生第1回総合学力試験 (30日 (土) まで)
19日	金	1年生健康診断 (予定)
7月11日	土	実験動物供養祭 (千葉校舎) (3年生)
8月31日	月	夏期休暇 開始
9月 1日	火	夏期休暇 終了
5日	土	1・2・3・4年生授業再開
14日	月	6年生第2回総合学力試験 (2日 (水) まで)
16日	水	5年生第1回総合学力試験
17日	木	1・2・3・4年生前期授業終了
29日	火	1・3・4年生前期定期試験 (29日 (火) まで)
10月 1日	木	2年生前期定期試験 (28日 (月) まで)
15日	木	解剖慰霊祭 (水道橋校舎) (2年生)
30日	金	1・2・3・4年生後期授業開始
11月 2日	月	振替授業 (月曜日分)
14日	土	} 第41回東歯祭 (準備・後片付けを含む) (予定)
25日	水	
26日	木	推薦入学選考、帰国子女・留学生特別選抜、 学士編入学試験 (予定)
12月18日	金	振替授業 (月曜日分)
24日	木	6年生第3回総合学力試験 (27日 (金) まで)
25日	金	} 1・2・3・4年生前期追・再試験
平成22年 1月 7日	木	
6日	水	冬期休暇
8日	金	6年生第4回総合学力試験 (7日 (木) まで)
14日	木	1・2・3・4年生授業再開
15日	金	振替授業 (月曜日分)
16日	土	1～4年休講日 (大学入試センター試験前日)
29日	金	大学入試センター試験 (17日 (日) まで) (予定)
2月 2日	火	1・2・3・4年生後期授業終了
6日	土	一般入学試験 (I期)、センター利用入試 (I期) (予定)
8日	月	4年生後期定期試験 (15日 (月) まで)
12日	金	1・2・3年生後期定期試験 (16日 (火) まで)
16日	火	本学創立記念日
17日	水	4年生総合学力試験
18日	木	2年生総合学力試験
19日	金	4年生共用試験 (CBT)
20日	土	3年生総合学力試験
28日	日	5年生第2回総合学力試験
3月 2日	火	4年生共用試験 (OSCE) (前日27日テストラン)
5日	金	} 1・2・3・4年生後期追・再試験
6日	土	
8日	月	5年生総合学力追・再試験
9日	火	3・4年生総合学力追・再試験
11日	木	2年生総合学力追・再試験
13日	土	4年生共用試験 (CBT) 追・再試験
25日	木	一般入学試験 (II期)、センター利用入試 (II期) (予定)
		第115回卒業式







東京歯科大学広報 編集委員

内山健志（委員長）

浦田知明 江波戸達也 王子田 啓 金安純一 河田英司 坂本智子 椎名 裕 柴家嘉明 新谷益朗
高木直人 田口達夫 野島靖彦 伴 英一郎 橋本貞充 三木敦史 米津博文（平成21年3月現在）

編集後記

「内山さん。この写真の建物は何ですか」

「知らず言って聞かせやしょう。…」

「この建物は銀座4丁目にある歌舞伎座だよ」、と不遜にも言うつもりではありませんが、これは、そのあと、「…聞かせやしょう。浜の真砂と五右衛門が、歌に残せし盗人の、種は尽きねえ七里が浜、…」と七五調で続き、「…弁天小僧 菊の助たあ、おれがことさ」と結ぶ歌舞伎の演目『白波五人男』の中の台詞です。歌舞伎にはシェークスピアに負けない名台詞が多くあると言われており、これはその一つです。

歌舞伎座は、本学が開校される1年前の明治22年、演劇改良運動のもと京橋木挽町に開設されました。ここで、名優九代目市川團十郎や五代目尾上菊五郎が活躍し、演劇のジャンルそのものが場所の名称となりました。現在の建物の原形は、大正13年奈良朝風に桃山様式を併せて完成した大殿堂です。その後、戦災で消失しましたが、昭和26年に復興されました。しかし、この写真の歌舞伎座は来年4月のさよなら公演を最後に、一部の意匠は生かされたまま、新たな歌舞伎座に生まれ変わるとのことです。

歌舞伎の発祥は、江戸に幕府が開かれた1603年、京都で評判になった女性の出雲の阿国の踊りとされており、その後、江戸の町民に向けて製作されるうち舞踏的要素を備えた演劇になったと言われております。演目には、江戸時代以前の題材に基づく時代物、江戸時代の町人の生活をあらわした世話物また純歌舞伎や新歌舞伎などに分類されます。歌舞伎は重要無形文化財に指定された日本独特の演劇で、世界に誇るべき伝統芸能の一つです。

歌舞伎の語源は、傾く（かぶく）の連用形であるとされ、「流行の先端を行く」との意があるそうです。芭蕉の「不易流行」とも、また本学120周年記念テーマである「継承と発展」とも意を同じくするものと思います。まさに伝統そのものでありましょう。

（広報・公開講座部長：内山健志）



（株）松竹のご好意により掲載